

第5章 施策評価書（基本施策の進行管理）

1 施策評価書の見方

第7次南知多町総合計画 施策評価書

基本目標 2 地元をにぎわすしごとづくり

基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業

1. 現状と課題

本町の水産業は、豊かな漁場や良好な漁港といった強みから、愛知県内最大の水揚げ量、県内最多の漁業従事者を擁しています。また、水産業は本町の重要な観光資源でもあり、町民にとっても南知多町の象徴的な存在です。一方で、漁場の環境悪化による漁獲量減少や燃料費高騰などのコスト高、食生活の変化による消費量減少など、経営環境が悪化し、従事者の高齢化や後継者不足が続いています。

町が考える現状と課題・目指すべき将来像を記載し、その将来像を実現するための主な取り組みをまとめています。

2. 目指すべき将来像

経営が安定し、水産業従事者や就業希望者にとって魅力ある水産業を目指します。また、若者をはじめとした町民にとっても、観光客にとっても、美味しい海の幸が本町の魅力であり続け、本町産業全体の価値創出の源泉であり続けることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・水産資源の持続可能性を確保するため、漁場の造成や水質の改善などの環境保全、栽培漁業や資源管理型漁業を推進します。
- ・新型コロナウイルスの拡大による消費の減少に対応するため、インターネットによる販売などの取り組みを支援します。
- ・水産業者等の設備の近代化支援により、生産性向上や、水産業従事者の就労環境の改善、衛生管理の強化を図ります。
- ・現代の生活スタイルに適した加工品、市場に出荷しても安い魚種の有効活用、輸出力の強化など、販売の安定化と高付加価値化を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 漁港一般管理費	建設課	町管理漁港である4漁港(大井、日間賀、山海、豊丘)の一般事務を実施します	1,276	1,161	B		P185
2 港湾一般管理費	建設課	町管理港湾である内海港の一般事務を実施します	228	252	B		P196
3 港湾施設維持管理費	建設課	町管理港湾の施設維持・修繕等を実施します	9,673	8,357	B		P197
4 漁業振興対策事業費	産業振興課	漁業生産基盤の向上や漁村・漁場環境の保全ならびに漁業経営の安定化を図ります。	48,447	43,006	B	P54	P215
5 栽培漁業振興対策事業費	産業振興課	「獲る漁業」から「育てる漁業」への推進を図り、漁業経営の安定化を図ります	5,916	5,532	B	P55	P216
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

関連する主な事業とその費用を記載しています。

5. 地域との協働に関する取組み状況

- マルシェや市などに参加し、地元の水産物を楽しみながら購入する(個人)
- 地元の水産物の魅力(おいしさやレシピなど)を口コミやSNSで情報発信する(個人・事業者)
- 旬の地元水産物をメニューや品揃えに取り入れる(個人・事業者)
- 浜清掃に参加(個人・事業者)、漁具を海に落とさないよう管理する(事業者)など

6. 町民意識調査によるニーズ等

自由記述意見から実現の可能性が高い又は条件によっては実現可能な提案等に関する記述のみを抜粋【関連する主な予算事業の番号】
【モニター調査】
■具体的な要望等
 某、魚介捌きYouTuberのように、この町に有益な情報発信をしたい。個人のSMSではよく掲出している。漁獲→生け簀→魚屋で刺身→自宅で食べる。これに馴れて離れられない。
 魚ひろは建て直し(拡大)、飲食店多数設置など。マルシェもやる。
 育てる漁業を漁業組合と連携して養殖可能な魚介類を育成して、地産地消や観光業との協業、就労人口増加を目指してもらってはどうか。
 漁協、市場の統合。
 インターネット発信で、地元の人より他県、他町の人がよく知っているようだ。情報(SNS)を発信する。自分たちが地元の魅力を知ること。
 魚中心の食生活、できるだけ地元の新鮮な魚を食べるようにしている。年々種類によるが、漁獲量が減ってきている。漁師に聞いても原因がわからない。
 町や県で、原因を調べてほしい。魚がとれなくなれば、南知多町の存在価値はなくなり、限界集落になる。
 漁港にごみを捨てていかれる釣り客等が多いので、看板などをもっと立てキレイな港を目指したい。
 南知多町内であっても、地魚を出さない(養殖魚や冷凍ものを使って)飲食店や旅館がある。かたや地魚ふんだんに用いても立地などの条件でなかなか繁盛できないお店もある。地魚提供店・認定制度(仮)のようなものを作って、ランクに応じて(ほとんど地魚 / だいたい地魚 / 一部地魚 など)認定マークを掲げてもらったり、専用のサイトやマップをつくらせるのはどうか。地魚を出さないお店への意識向上の狙いもある。
 海岸清掃を行っているが、自分の活動がどれだけ価値があるが疑問に思うことがある。町は町民の活動を把握してほしい。
 最近の漁獲量の減少などの主な原因を、県などと協力し調査を行い、広く情報を伝えることが不安一掃と対策を打つカギになると思います。伊勢湾の埋立(第二滑走路計画)や、福島原発の汚水の海洋放棄など、町の"反対"態度表明など必要と考えます。
 漁業者の高齢化が進み、後継者不足は深刻です。漁港の施設利用も減少し、いずれ漁協は存続の危機に陥ってしまいます。老朽化し、使用しなくなった施設もありますが、取り壊されず放置されて危険です。
 無印良品の会社はウイグル綿を使った製品を扱っているのでもらないで。
 道の駅とか作ると良いと思う。

■抽象的な提案、意見等
 浜掃除。
 課題は毎年同じような項目が示されているが、各地区の取り組みや目標達成率等、卓上論だけでない、現場重視を望む。
【自由回答調査】
■具体的な要望等
 漁業者自らが漁港を清掃すべき。海にタバコに吸い殻を捨てていないか? 漁港の整備などで町や県や国が多額の支出をしている事をあたりまえとせずにしてほしい。サラリーマンは仕事場を整備してもらえない。
 栽培漁業も注力すべきと考える。


■抽象的な提案、意見等
 水産業あつての南知多だと思います。主要産業としてどうなっていくか。それがポイントになると思います。

町民意識調査で施策に対する自由意見を住民のニーズとして記載しています。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R6)
84	80	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3	 一部努力を要するが概ね順調 栽培漁業振興対策事業は大変良い事業だと思うが、推進方針が継続だが予算が減少している。町財政との兼ね合いだと思うが、頑張してほしい。
R4	
R5	
R6	

町民意識調査による満足度の進捗について、計画見直しまでの4年間分記載しています。

評価委員会で評価した結果、その評価に係るコメントや要望等の意見をまとめています。
 ※評価委員会とは、モニター等で構成された評価委員に基本施策の評価をしてもらう場のこと
 で、実施計画書・施策評価書・事業評価書を参考に評価を行います。

基本施策 1-1 地域で大切にしている子育て環境

1. 現状と課題

本町の強みとして、自然が豊かでのびのびと遊べる環境がある一方で、出生数は減少傾向にあり、子育て環境整備に向けた取り組みが必要となっています。

2. 目指すべき将来像

母子の健康が保持・増進され、豊かな自然の中で子どもが遊び、子育てと仕事が両立できる、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

子育て環境は各家庭の問題と捉えるのではなく、子育てを応援するため地域全体で以下のような取り組みを行っていきます。

- ・乳幼児健診、訪問指導、育児相談等切れ目のない子育て支援サービスの充実を図ります。
- ・保育所再配置を検討し、適正な児童数での保育所運営、公園環境の維持管理、歩道の整備等を進めます。
- ・子どもやひとり親などの医療費や不妊に悩む夫婦の一般不妊治療費を助成します。
- ・子育て支援事業や一時保育、延長保育等の保育サービスなど、子育てと仕事の両立支援を充実させるとともに、ファミリー・サポート・センター等の新しい事業についてはニーズを考慮し実施を検討するなど、町として子育てを応援するため実践的な取り組みを行っていきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 子ども医療費	保険年金室	子ども医療費及び一般不妊治療費の助成を行います	48,698	54,194	B	P21	P202
2 母子家庭等医療費	保険年金室	18歳に達する年度末までの児童を扶養している配偶者のいない母(父)とその児童を対象に、医療費の自己負担額を助成します	10,280	11,667	B		P203
3 児童手当等支給事業費	健康子育て室	家庭生活の安定と次代の社会をにう児童の健全な育成及び資質の向上を目的として、児童手当、遺児手当を支給します	207,118	207,021	A		P228
4 保育所一般管理費	健康子育て室	保育サービスの充実を図ります	150,017	128,392	A	P23	P229
5 子育て支援センター・どんぐり園事業費	健康子育て室	子育て支援センター(おひさま)、どんぐり園の充実を図ります	4,102	2,226	A	P24	P230
6 放課後児童健全育成事業費	健康子育て室	放課後児童クラブの充実を図ります	8,628	11,556	A	P25	P231
7 児童遊園等整備事業費	健康子育て室	児童遊園の適正な管理と利用の促進を図ります	256	417	A		P233
8 母子保健事業費	健康子育て室	子どもを安心して生み育てることができる環境づくりに努めます	14,008	12,786	A	P29	P241
9 家庭教育推進事業費	社会教育課	子どもの健全育成を進めるため、家庭教育推進事業、家庭の日・町民あいさつ運動の啓発を実施します	1,057	1,297	B	P37	P257
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 子育て世代同士が交流したり、協力し合う活動に積極的に参加する。
- 近所の子どもへの声掛けや見守りをする。
- 違う地区同士の親子が関わり、連携できる機会を増やす。

6. 町民意識調査によるニーズ等

町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

■具体的な要望等

- ①一般不妊治療費助成はいいことだと思います。
- ②予算を組む上で、例年通りのルーチンでは意味がない。より柔軟な対応ができるのは民間だが、消滅可能性地域に参入する事業者も子育て関連で内発的に始まる市民団体のようなものも見込めないのであれば、行政が多地域の先進的な行政サービスを模倣するでもいい。今は心の豊かさに価値を置いて行動する子育て世代が多い時代で、多少不便でも心の豊かさのある地域を居住地に選ぶ。この地域はそういう豊かさがあるので、これ以上子育て世代が流出しないようにすること、魅力を感じて来てくれる子育て世代が失望しないように受け皿を充実することに重きを置くといい。特に、観光地であるこの地域の働き方は土日祝に子どもを預かる所が必要なので、その休日保育の整備をすすめてはどうか。
- ③放課後児童クラブの取り組みについて詳しく知りたいと思いました。充実とはどの程度のものなのかも知りたいです。
- ④離島にも放課後の児童クラブ等があればいいなと思う。
- ⑤小中一貫校を地域ごとに(師崎、豊浜、内海)地域ごとの特色を強く打ち出し、南知多町で教育を受けさせたいと思わせる。
- ⑥廃校、廃園になる場所を生かした事が出来ないか。
- ⑦人口減少対策に重点政策とする。
- ⑧子育てサービスの拡充はもちろんだが、その情報の提供や紹介を専門とする”子育てコンシェルジュ”部門を設置してはどうか。広く町民に認知させ、気軽に相談できる窓口とする。
- ⑨子ども医療費の不妊治療費に関して、全国的に妊娠できない夫婦は増えていて、治療による金の補助をすれば解決するとは思えない部分がある。お金を出すだけではなく、なぜ不妊なのか、その原因の解明を国がもっと力を入れてやってもらうように働きかけて欲しい。糖質摂り過ぎを改善したら妊娠できた例があったり、最前線では解決法が提示されていたりする。(TV(NHK)でも放送されていた)お金のばらまきは財政の不健康となり得るので、長い目ではあるが「元を正す」方向にも向かって欲しい。
- 若い子育て世代は、SNSで不安や不便さを共有して解決できる環境にしてやるのが大切かと思えます。地域の中で富や資産を分配して共有して安心して暮らせる環境を創りたいと思います。
- ⑩保育所に入所前の子育て中、美容院、歯医者など時間単位で気軽に預けられる半田市の子育て支援センターを利用していた。その時は町内でも一週間前の予約ではなく、そういったサービスがあれば良いと思っていました。
- ⑪昨年、小学校、中学校の統合問題が出され、小学校の統合が決定されました。保育園から小学校は、子育ての最も重要な条件です。学校を廃止することにより、子育て生活が大きく変化せざるを得ません。父母や地域の皆さんは、もっと話し合いを継続することを望みました。
- ⑫保育、児童クラブは年齢や定員縛り、優先順位で入れない場合がある為、希望者は全員入れるようになるとういいます。
- ⑬自営業なので、妊娠出産したら働けず収入が激減してしまう。会社勤めであれば産休育休があるが、自営業者やフリーランスは妊娠出産期間の部分的な所得補償や出産交付金などが無いと急な収入減に対応できないため、出産に踏み切れない。
- ⑭一時保育がクイックに利用できない。利用して欲しくなさそう。
- ⑮病児保育がない。美浜町は役場で病後保育があるが、それを南知多と協働させてもらえないか。
- ⑯土日が忙しい観光業も多く、農業漁業にも土日は無いのに、土日に預ける先がない。
- ⑰職員の方と接していると、「保育のサービスは有限で、受けられるのは限定した対象者だけ。対象者を絞って行政サービスを節約したい」と感じる。それが影響してなのか保育の現場も「保護者を甘やかさないように」というギスギスした空気を感ずる。子育て政策に予算とマンパワーを割いてほしい。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R6)
89	78	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・土日の預け先があることで働き方の選択肢が増えて住みやすいまちになる ・園児が少ないのできめ細かな保育ができています ・産前産後ケアを充実してほしい
R4	
R5	
R6	

基本施策 1-2 次代の担い手を育む教育環境

1. 現状と課題

町内の小中学校はすべて小規模学校であり、きめ細やかな教育指導が行われています。しかし、集団の中で学び合いを通じて、判断力や社会性を身に付け、自分を信じる力をつけていくためには、一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、それを踏まえた適正な学校規模を図っていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

学校、家庭、地域が連携して「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」からなる「生きる力」、「自己肯定力」を育むことができる学校環境を整え、本町の次代を担う人材の育成を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・実現したい教育の姿・環境を見据え、「南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画」に沿って、学校の適正配置、規模の適正化を進めていきます。
- ・老朽化状況の把握、各学校施設の改築、長寿命化を行っていくための、長寿命化計画を策定します。
- ・外国語や、プログラミング教育など、次代に必要な教育カリキュラムの作成、実施を進めます。
- ・学校のICT環境の整備とICTを活用した学習活動の充実を進めます。
- ・児童生徒が地域に愛着を持つために、農・漁業体験をはじめとした自然の中での学習、伝統行事等への参加、地元の食材を使った給食等、郷土学習の拡充に取り組みます。
- ・児童生徒が本町の未来を考える機会の創出を推進します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 教育委員会一般管理費	学校教育課	定例教育委員会、町総合教育会議の開催や学校訪問等、教育委員会の運営に係る事務事業を実施します	1,758	1,527	B		P244
2 事務局一般管理費	学校教育課	教育委員会事務局運営に係る事務事業を実施します	36,201	37,510	B		P245
3 教育振興一般管理費	学校教育課	学校教育の充実を図るため、教育振興に係る事業を実施します	71,675	48,833	B	P30	P246
4 小学校一般管理費	学校教育課	小学校施設の適切な維持管理に努めます	68,532	63,441	B		P248
5 教育環境整備事業費	学校教育課	安全で安心して生活できる小学校教育環境の整備を実施します	40,101	2,646	B	P31	P249
6 中学校一般管理費	学校教育課	中学校施設の適切な維持管理に努めます	41,691	36,743	B		P251
7 教育環境整備事業費	学校教育課	安全で安心して生活できる中学校教育環境の整備を実施します	40,101	2,205	B	P34	P249
8 学校給食運営費	学校給食センター	学校給食を安全に安定的に提供します	46,405	57,597	B	P43	P270
9 賄材料費	学校給食センター	学校給食に伴う賄材料、非常食及び体験喫食用非常食を購入します	61,577	64,413	B	P44	P271
10 学校給食施設整備事業費	学校給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、学校給食施設の整備を実施します	346,834	543,596	D	P45	P272

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 登下校の見守り、学習支援、行事・部活動支援などの学校支援ボランティア。
- 地元産業の体験等、子どもに体験学習の機会を提供すること。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①世界や価値観や常識、教育やコミュニケーションのあり方まで大きく変化し変遷している過渡期において、予め「こうである」と決めて、数年後に実行…なんて、子どもたちにとっても適応力や創造性を高める機会を奪うことになりかねない。行政のあり方そのものも変えて、都度反映するような教育のカタチを検討してみてはどうか。例としては、各地区の小学校跡地などを復活(リノベーション)させ、「サテライト」として利用。ウェブ上で交流し、学び、高め合い、地区ごとのサテライトで地域の繋がりや地域の交流を産むなど。他に、地区ごとに保育所から中学、高齢者施設まで一体化した「サテライト」を整備。教師だけに頼らない、縦横の繋がりを生かして助け合う。地区を越えた繋がりはウェブネットワークで。ウェブでもかおを合わせながらの交流はもはやスタンダード。
- ②学校給食にオーガニック野菜を取り入れる動きが契約まで漕ぎついたことを先日聞きました。とても良い取組みに実現する日が待ち遠しいです。
- ③学校は1ヶ所にまとめるではなく、各地区の学校を小規模整備。自然に減少しているのだから力を入れ過ぎないようにする。
- ④社会性は家庭での教育、環境の影響が大きいと思う。使う教科書とか、教員の質などを重点的に力を入れてほしい。地元が廃れれば伝える文化も無くなる。中学区単位で残すべきだ。
- ⑤町の教育振興は重要だが、過度な期待と関与で各学校の先生方の負担を増やすようなことがあってはいけな。また、中学校の職業体験を受け入れたことが何度かあるが、「先生に言われたから…」「内申のために…」という感じで地域の労働そのものにはほぼ関心がないという感じだった。地元が田舎であると卑下する子供ほど都会に出ていきたくが、また地元への無関心に繋がっている。田舎だからその可能性を示し、子供たちの盲目的なマイナス思考を取り除くことが肝要。
- ⑥人数が少ない分、生徒、親、先生との距離感が近く、その点では満足しています。しかし、少人数のデメリットも多々感じており、統合は必要だと思います。
- ⑦子どもたちに全国的に見ても豊かな地産品を持つ南知多町の農・漁業(特に農業)について、学ぶ機会を増やして欲しい。事業者に(yaotomi・みなみちたフルーツ・魚の学校・牛小屋など)授業に来てもらって欲しい。
- ⑧小学校、中学校不登校のある生徒と家族から話を聞く機会があり、登校できない理由の1つに友達関係で行けなくなり、クラス替えがないからと言っていた。実際に自分の子供も山海小が統合されるときには、地元保育所も小学校もなくなり余計にさびれてしまうと反対したが、今となっては良かったと思う。実際に自分の子供の1学年下は男子数人しかいなかった。そうならないように、一刻も早く、中学校が統合されることを願うばかり。美浜町のように小中一貫の校舎、将来的には保育所も同じ敷地になってほしい。
- ⑨家庭で働いている親がいたら、学習支援などをして欲しい。習い事も限られる。
- ⑩基本施策1-11に続くもので、学校統合は、地域に住みたい、住み続けたい希望を閉ざすもので、慎重な議論が必要だと思います。
- ⑪岐阜市に不登校専門公立校が開校し40人の定員に対して120人が説明会に参加して話題だが、親のリモートワークが進む中で子供に合った学校を選んで移住したいと考える人は多い。南知多の豊かな自然環境で子育てしたい移住者を呼び込むだけでなく、こうした取り組みが「子供たちの多様な成長を応援できる」豊かな教育環境と町づくりに繋がる。大井小学校を利用して南知多も不登校専門特例校を作れないか。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R6)
86	74	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合については住民が置き去りにならないよう丁寧をお願いしたい ・学校設備、教員の方には満足している
 概ね順調	
R4	
R5	
R6	

基本施策 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり

1. 現状と課題

誰もが本人の希望に応じ働き続け、退職後も元気で充実した老後を送るためには、生涯を通じた健康づくりが重要です。一方で、医師・保健師等の確保、救急医療体制の確保、健診受診率の向上、生活に不可欠な医療機関へのアクセス、地域の保健医療体制の整備が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

生活習慣の改善などの日常的な健康づくりや予防医療の充実により、重篤な病気にかかる可能性を減らし、健康寿命を延ばすことで、町民の生活の質を高めるとともに、医療に関わるコストの削減を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・母子健診や特定健診、その他の健診について、受診対象世代等に応じた工夫、拡充に取り組み、受診率の向上を図ります。
- ・健康教育、食生活改善事業、介護予防講座など、町民の健康づくりに役立つ機会の充実に取り組みます。
- ・乳幼児から高齢者まで健康と生命を守る予防接種事業を推進します。
- ・医師・保健師等の待遇改善に必要な財源の確保や、遠隔地医療など新たな技術の活用等、医師・保健師等の確保対策を検討します。
- ・行政、知多南部地域における公的病院の医療機関と地域医療機関の連携により、安定的、継続的な医療の確保を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 後期高齢者保健事業費	保険年金室	後期高齢者医療広域連合より健康診査業務を受託し、南知多町の被保険者に健康診査を行います	5,047	8,060	B		P209
2 国民健康保険特別会計	保険年金室	国民健康保険制度の適切な運用に努めます	2,754,114	2,849,000	B		P210
3 保健衛生一般管理費	健康子育て室	保健衛生に係る献血推進事業、けんこう南知多プラン推進事業等を実施します	1,524	1,713	A	P26	P235
4 離島診療所運営費	健康子育て室	篠島、日間賀島における安定的、継続的な医療を確保するため、診療所の管理運営費の補助及び維持管理を行います	7,428	10,919	A	P27	P236
5 地域保健医療事業費	健康子育て室	地域の保健医療の充実と救急医療体制の確保を図ります	38,112	28,188	A		P237
6 予防接種事業費	健康子育て室	乳幼児から高齢者まで健康と生命を守る予防接種事業を推進します	43,364	35,892	A	P28	P238
7 保健事業費	健康子育て室	健康教育・健康相談・訪問指導・食生活改善事業等を実施します	73	401	A		P239
8 健康診査事業費	健康子育て室	生活習慣病の予防や早期発見、健康づくりへの意識高揚を図るための健診事業を実施します	8,946	17,897	B		P240
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 規則正しい生活リズム、定期的な運動、禁煙を心掛け、健康診断を積極的に受けている。
- 「健康経営(従業員の健康を、企業の生産性の向上等につなげる取り組み)」を実践している。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①地域での医療機関は地域の死活問題だと思います。知多厚生病院のような施設は絶対に欠かせないと思います。存続とIT化によって医師不足を解決して質の高い医療体制を知多半島全体で気づいていけるとよいと思います。
- ②自分が糖尿病なので、若者に運動の必要性や暴飲暴食を控えるよう伝え生活習慣病の恐さをお知らせしてます。
- ③基本的な活動はしているが、もっと積極的なアピールが必要だ。広報でアピールするとともに、責任分担者が足で活動する地道な取り組みが不足している。ある団体に委嘱しているとか、任せているといった他人任せの姿勢が見られる。
- ④コロナ対策など、町民の知りたい情報をもっと提供するべきだと思います。また、国保料が、県下第1位で国保や介護運営協議会を住民代表を含めた運営にすべきで、特に議員が入っている委員会などは、町民無視の運営で改善すべきです。
- ⑤診療所は、1歳未満は診てくれるだけで、島外に行かないといけない。
- ⑥近場の医師の質が良くないので、近隣市町の医療機関とも提携して、予防接種なども行きやすくして欲しい。煩雑さをなくして欲しい。
- ⑦診療所(離島の場合)毎日居て行って頂きたい。曜日が決まったら、結局自分たちで救急の場合行かなければならない。国保料金引き下げ。
- ⑧他がやっている良いことはどんどん取り入れていくべき
- ⑨町内に大規模な企業が誘致されていないので、税収入が見込めないのか、住民の税金が高額。
- ⑩仕事で、診療時間内に間に合わず受診できない事がほとんどです。緊急性も無いため夜間救急外来に行くのもためらってしまいます。診療時間がもう少し長く、気軽に受診出来るといいです。
- ⑪今後、地域の医療施設が減っていかないか、心配。今まで頼りにしていた、知多厚生も規模が縮小しており、不安を感じる。大岩医院のように、月に数回でも皮膚科の先生がくるなど、専門の先生がきてもらえるとありがたいです。
- ⑫半田市や美浜町など知多半島南部の市町としっかり連携して欲しい。
- ⑬適度に体を動かすための機会や場所、設備が足りない。公共の運動公園や体育施設を充実させてほしい。他地域の人も利用したいと思うようなものがあれば、町の活性化にもつながると思う。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
89	80	↘							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス、おむつなどの施策に満足している ・高齢者を医療機関へ連れていくシステムが必要
 概ね順調	
R4	
R5	
R6	

基本施策 1-4 個性を活かす障がい者福祉

1. 現状と課題

本町の障がい者手帳所持者数はほぼ横ばい傾向ですが、身体障がい者や重度障がい者は65歳以上の高齢者の割合が多くなっていることから、以下が課題となっています。

- ・障がい者の高齢化や重度化、介護者及び介助者の高齢化
- ・障がい者の自立と親亡き後の生活
- ・グループホーム等の施設及び福祉サービスの人材確保

2. 目指すべき将来像

思いやりの心によってみんなで支え合い、誰もが地域の中で自立した生活ができ、それぞれの特性に応じた多様性が発揮できるような地域福祉の実現を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・各障がい福祉サービスの見込量や確保方針を示すための、各種計画を進めます。
- ・自立支援等の充実により、福祉施設の入所者の地域生活への移行や福祉施設から一般就労への移行等を行います。
- ・企業等による障がい者の雇用や、多様性を活かした社会参加を支援します。
- ・コミュニティやボランティアなど町民の自発的な福祉活動の推進を支援します。
- ・不自由なく医療・福祉サービスを受け、安心して生活するために、障がい者の医療費助成や障がい福祉サービスを提供していきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 障害者医療費	保険年金室	身体障害者手帳1級から3級の方などを対象に、医療費の自己負担額を助成します	24,438	27,311	B		P201
2 精神障害者医療費	保険年金室	精神障害者保健福祉手帳1・2級の方などを対象に、医療費の自己負担額を助成します	16,463	19,728	B		P204
3 後期高齢者福祉医療費	保険年金室	後期高齢者医療被保険者で障害者医療や精神障害者医療などに該当する方を対象に、医療費の自己負担額を助成します	48,180	50,575	B		P205
4 訪問看護サービス助成事業費	保険年金室	篠島及び日間賀島に在住する町民が医療保険で訪問看護サービスを利用する場合に要する海上交通費及び師崎港駐車場料金の助成を行います	35	120	B		P208
5 社会福祉団体助成事業費	住民福祉課	社会福祉関係団体に対する活動助成を実施します	35,661	37,229	B		P195
6 障害者援護事業費	住民福祉課	在宅障害者手当、障害者交通費扶助等、障害者に対する援護事業を実施します	41,510	41,489	B		P196
7 障害者総合支援事業費	住民福祉課	障害者総合支援法等に基づき、福祉サービスを実施します	286,019	284,091	B	P72	P197
8 認定審査会費	住民福祉課	障害者介護給付認定審査会を開催するなど障害支援区分認定事業を実施します	968	1,237	B		P198
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 授産施設や福祉作業所の製品を購入、サービスを利用している。
- 障害に対しての正しい知識を持っている。障がい者の得意なことや才能を知り、評価している。
- 授産施設に仕事を出すなど応援している。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①私の回りでも町内の介護施設を本当に必要としているのに、なかなか施設さんに預かっていただけず、苦勞している方は見えます。住宅訪問などして、現状をみまわってみてもいいかと思ひます。
- ②先日の日経で北九州市にあるサンアクアTOTOが紹介されていたが、障がいを持っていても仕事への働き甲斐や自負心を醸成できるような場所が増えればいいと思ふ。
- ③住民の意識向上のための施策を進めるのは机上でなく行動で掘げたい。
- ④どのようなサービスや助成があるのか、問い合わせしないと分からない。サービスや助成の対象のことで申請前に済んでしまった事は対象外になってしまうので、もっと分かりやすく利用できるよ様に周知が必要だと思ひます。
- ⑤グループホームなどの施設が少ない。障がいのある人が親に頼らず働いて自立できるようにすべき。
- ⑥障害者を支援する施設が存在していることすら一般の人にはあまり知られていない。どんなことをしているのか、その充実度を町内外に知ってもらえれば、人口増につながると思ふ。
- ⑦すいせんひろばの立地場所が住宅地から離れすぎている。関係者以外が行く機会がない。南知多町にはすいせんひろばがある事、障害者がいる事を発信し、知ってもらうことが必要ではないか。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
85	87	↗							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者のみならず、介助する人への支援を充実してほしい ・地域に障がい者がいることを地域全体が理解してほしい ・精神障がい者への支援拡充
R4	
R5	
R6	

基本施策 1-5 安心して住み続けられる長寿社会

1. 現状と課題

本町は、漁師や農家、観光業者など自営業が多く、一般的な定年の年齢後も、体力の続く限り元気に働く人が多いという強みがあります。一方で、高齢化と若年層の流出に伴い家族による介護力の低下が予想され、受け皿となるサービス基盤や地域づくりが課題となっています。

2. 目指すべき将来像

保健、医療、福祉等の各政策や、互いに助け合い支えあうコミュニティにより、年をとっても、また要介護状態となっても、住み慣れた地域で暮らし続けられる長寿社会の実現を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・若い世代と高齢者が交流し、支え合いの意識を持つ機会を創出します。
- ・効果的な介護の方法の習得、介護者の不安・悩みの緩和等の機会を提供します。
- ・高齢者の暮らしを支えるための、在宅福祉サービス、高齢者支援事業を提供していきます。また民間事業者を含めた介護サービスに従事する人材の確保を支援します。
- ・地域ケア会議等を通じて、在宅医療、介護連携等の環境整備を推進します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 国民年金一般管理費	保険年金室	国民年金の裁定請求、各種届出、納付困難者に対して保険料の免除の受付及び年金相談を行います	107	769	B		P199
2 社会福祉一般管理費	住民福祉課	民生委員児童委員の活動を支援します	2,649	3,092	B		P194
3 老人福祉一般管理費	健康介護課	ひとり暮らし高齢者が地域で安心して生活できる地域づくりを支援します	5,577	41,678	B		P219
4 高齢者敬老事業費	健康介護課	百歳高齢者の記念品の授与など高齢者の敬老に係る事業を実施します	65	51	B		P220
5 在宅福祉事業費	健康介護課	日常生活に不安のあるひとり暮らしや在宅高齢者が安心して暮らせるために老人福祉サービスを実施します	8,936	8,986	B		P221
6 老人保護措置費	健康介護課	家庭環境や経済的な理由で、家庭において世話を受けられない高齢者を養護老人ホームへ入所措置を行います	7,844	6,428	B		P222
7 介護保険特別会計	健康介護課	介護保険制度の適切な運用に努めます	1,989,362	1,963,000	A	P77	P226
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 高齢者は子どもの見守りや学習支援、若年者はPC・スマートフォン操作や体力の要る作業など、世代間でお互いをサポートしている。
- 子どもと高齢者が交流する行事などに積極的に参加している。
- 移動販売や買い物支援、宅配サービスを充実させている。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①現代、高齢者といっても60代、70代はお元気です。リタイアされた方々が、地域のためや、人を助けるというシルバー人材派遣の活動を広げてはどうでしょうか。
- ②子育てと同様に、相談先として分かりやすい窓口を設置してほしい。
- ③個人的な事ですが、父の老人会、他の方の提出資料を今年作りました。70代の方だとパソコンが使えない方も多く、助成金をいただく資料作成も大変だと思いました。もう少し簡素化できると良いと思います。
- ④寿命は必ずつきるし、お年寄りの健康はある程度でしか維持できないと思うのでまずはいかにしたら安心できる社会を構築できるかが問題だと思いません。不安や不便を取り除けることをアンケートにとって実施してみたらなにか見えてくるように思います。
- ⑤自分で買い物に行けなくなる時が来ると思うので、必要なことだと思う。
- ⑥日々の病院・買い物など、足がなくて行けない一人暮らしのお年寄りを助ける手立てを！ワクチン接種でも、一人暮らしで足のない方は置き去り、バスやタクシーを出すなど手だてを取って欲しい。
- ⑦活動をしていても、役場関係者との交流はない。役場の人は、どこまで地区に入り込んでいるのか疑問だ。現場を見てほしい。
- ⑧高齢者、子どもの見守り学習支援はすごくして頂きたい。
- ⑨子供とお年寄りが交流できる場があれば良いと思う。
- ⑩60歳からは働かなくても安心して暮らせる町に、国にしなければならぬ。きちんと60歳から年金受給できるようにすることが子育て支援、健康維持政策になる。
- ⑪老人クラブの役員が地域で一番忙しそうです。役員を決めるのが一苦労だそう。さっと集まって済んだら即解散できる除草作業のボランティア活動もいいのでは。
- ⑫各地区で実情は異なるが私の地区では、高齢者(65才以上)の女性はカラオケ・グランドゴルフ・太極拳等積極的に活動しているが男性は朝・夕の散歩くらいである。
- ⑬男性も活動してみたいと思える、アイデアを発信出来る人材を望む。
- ⑭年金暮らしのお年寄りが、安心して暮らせる生活支援があると良いと思う。
- ⑮海っ子バスのバス停は、たとえ乗る人が少なくとも要望があればその地域に作るべきです。そのための地域バスのはずです。
- ⑯予算事業の内容の認知度が低いと思う。将来、どんなサービスが受けられるのかがわかれば、若年層の安心感につながると思う。
- ⑰高齢化率が高いことを理由にDXを躊躇すべきでは無い。デジタル格差を減らすことに着目するのではなく、デジタルの利便性を伝えることに注力すべきと考える。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
88	85	↘							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  概ね順調	・介護サービス、おむつなどの施策には満足している ・高齢者を医療機関へ連れていけるシステムが必要
R4	
R5	
R6	

基本施策 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり

1. 現状と課題

町内外で実施された各種のアンケートでは、町民や移住希望者の自然を重視する結果が出ており、選ばれるまちであるためには、自然とふれあう機会の充実が重要と考えられます。

2. 目指すべき将来像

多くの方にとって本町が、住みたい・住み続けたい・戻りたいと思えるように、自然と親しむ機会が確保されることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・地域への愛着づくりや、移住、事業承継のきっかけづくりとして、農・漁業体験や、自然とふれあうプログラムの充実を図ります。
- ・より多くの方が余暇に自然と親しむため、自然のなかで行うアウトドア等の活動の普及・展開を支援します。
- ・また、上記の取り組みができるよう、美しい自然を守る活動の普及・展開を支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 環境保全対策事業費	環境課	住民と行政の協働による環境美化と地域環境の保全に努めます	21,941	49,991	A	P73	P212
2 農業土木一般管理費	建設課	農地や農業用施設の保全と質的向上を図る地域共同の取り組みを支援します	11,334	11,199	B		P150
3 地方創生推進事業費(空き家・まちづくり推進事業)	まちづくり推進室	協働と連携のまちづくりの推進と定住・交流人口の増加を目指します	12,009	16,800	B	P67	P145
4 保育所一般管理費	健康子育て室	保育サービスの充実を図ります	150,017	128,392	A	P23	P229
5 子育て支援センター・どんぐり園事業費	健康子育て室	子育て支援センター(おひさま)、どんぐり園の充実を図ります	4,102	2,226	A	P24	P230
6 放課後児童健全育成事業費	健康子育て室	放課後児童クラブの充実を図ります	8,628	11,556	A	P25	P231
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内の野山、河川、海などへ出かけ、自然と親しんでいる(個人)。
- 子どもを自然の中で遊ばせ、自然との付き合い方を学ばせる(個人)。
- 農・水産業体験、地元の食材を使った料理体験、アウトドア体験などの機会を提供する(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①町内危険箇所の把握を、古いデータを毎年見更新するのではなく、毎年見回りをして住民の声をもとに町内の安全を守っていただきたい。
- ②県には森と緑づくり税等があるが、行政で独自の取り組みを提案しても要綱通りであれば交付金で実行したり整備したりできる。提案し新たな業務として遂行できるような余裕のある職員がいないのではないかと？自然を求めて、学びを求めて観光に来る人たちを気持ち良く受け入れる場所がほとんどない。もったいない！様々な交付金や補助金もあり、自然公園地域でもある。太陽光発電の乱開発に何の手を打てないまま景観を損ねて行くくらいならば、多少荒れた里山でも、手入れをし、公園化し、町(行政)で管理しても良いのではないかと。事例ならばある。きっと、働き盛りの子育て世代を招き入れるにはこういった一見子育てと関係なさそうな取り組みが大きく影響すると当事者世代は思う。
- ③皆が困っているゴミ分別の労力、費用負担をなくすため、暮らしやすい町づくり推進事業費へ改正。
- ④太陽光パネルの設置を禁止しろ。環境破壊させてくせにこんな質問するな。
- ⑤各地区も空き家対策で苦慮しているので、空き家リホームプロゼクトを企画する。
- ⑥ウォーキングコースの開発。
- ⑦建築学科のある大学の学生ゼミでリホームする空き家を提供し実技を体験し完成させる。
- ⑧各地区で1軒をリホームしてコンテストして各大学競わせる(メディアに発信)。
- ⑨コロナ禍で屋内より、屋外に目を向けるという意味で自然に触れ合う事は大切だと思う。美しい自然は観光へもつながるのでは。
- ⑩建前は自然に囲まれた生活だが、現代人としての便利な暮らしは手放したくないという本音は存在する。例えばwi-fiの整備。ワーケーションにはもちろん田舎暮らしをSNSにアップするにも必須。未整備の旅館ホテルや商業施設などに補助金を出すべき(美浜町はすでにしています！)
- ⑪整備された観光地が増えると良いと思う。貝がら公園など。
- ⑫移住も必要だが、自分の住む町の魅力を知って、若い人が定住することがとても大切。嫁や婿を連れてくる。都会からのリターン。
- ⑬町の自然もずいぶんと破壊されて無残になっていますがまだ残っている自然を活かして漁協を連携して海の自然や生物を大切に保存することが重要かと思えます。
- ⑭孫が実家に来た時は、海に畑に体験させている。自然体験です。
- ⑮移住者を受け入れようとする町(職員)の意欲がみられない。本心受け入れたいと思っているのか疑問である。町が真剣になれば、町民もついてくるはず。
- ⑯活動していても、役場関係者の姿が見えない。
- ⑰総合計画の議論でも、自然や観光を重視した南知多の特色を出すべきだとする意見が多く出されました。この点での施策や予算が不足しています。現在公募している施策でも予算や内容への制約が多く、らに強化する必要があります。
- ⑱太陽光パネルや、風力発電、大規模事業の参入は、自然を破壊し、自然豊かな風景を壊すため、誘致するのではなく、作らせないことを強く願う。
- ⑲美浜町のオレンジラインように、南知多の自然豊かな里山を歩くハイキングロードを整備してほしい。そして、それをもっと宣伝してほしいと思う。
- ⑳ソーラーが里山を壊しており強く懸念している。災害時の雨水が河川の氾濫に繋がらないか、雨水計画は大丈夫なのか。東浦町では国の里山保全の補助金を利用して一部地域の保護を行ったと聞いたが、南知多はそうした対策はしないのか。緑豊かな南知多がソーラーだらけになってしまう。町からも訴えてソーラーを拡大させないで欲しい。15年20年後に企業が倒産したらソーラーパネルの処分は町がするのか。
- ㉑豊田市旭地区で実施されている「ガキ大将要請講座」のような、親も子も自然(里山)の中での生きる術を学べるような機会があればいいと思う。町内外にこの地域の魅力を伝えることができ、人口維持、増加に役立つと思う。
- ㉒安全に自然に接するエリアを作り、エリア内には太陽光発電などはできないようなルールを作る。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R6)
84	78	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の充実や自然環境の整備をしてほしい ・企業と積極的にコラボして町をPRしてほしい ・地域との協働ができる環境が増えていくと良い
 一部努力を要するが概ね順調	
R4	
R5	
R6	

基本施策 1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ

1. 現状と課題

伝統行事やスポーツ活動は、町民の交流の場となり、健康で充実した余暇を過ごすために重要である一方、高齢化に伴う参加者や後継者の減少を踏まえた活動の在り方の見直し、施設の老朽化への対応が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

伝統・文化を保存し次代へ伝え、情報発信することで、地元へ愛着と誇りを持てる次代の育成や、文化を活かした観光・交流の振興を目指します。また、文化・スポーツ活動が、町民の交流や、健康の維持増進につながることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・今後必要となる公共施設再配置方針を定め、施設の再配置や長寿命化、修繕を進めます。
- ・幅広い世代が伝統文化等に触れることのできる機会の創出、郷土愛の醸成に取り組みます。
- ・各種行事は、町民のニーズに即した内容や運営により、参加者の維持・増加を図ります。
- ・文化財や伝統文化を保存、活用するための取り組みを進めます。
- ・伝統文化に触れ、体験する観光プログラムの開発、実施について検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 生涯学習推進事業費	社会教育課	生涯学習推進計画に基づき生涯学習社会の実現及び地域づくりを推進します	138	624	B		P258
2 公民館維持管理費	社会教育課	地域の団体活動や生涯学習の場として、各地区の公民館等社会教育施設の適切な維持管理、整備に努めます	38,979	42,054	B	P38	P259
3 尾州廻船主内田家維持管理費	社会教育課	尾州廻船内海船船主内田家の適切な維持管理、普及活用に努めます	5,966	6,439	B	P40	P264
4 梅原邸維持管理費	社会教育課	梅原邸の適切な維持管理、普及活用に努めます	1,877	771	B		P265
5 社会体育一般管理費	社会教育課	スポーツ推進委員によるニュースポーツの普及促進、町スポーツ協会活動を支援します	2,699	7,055	B		P266
6 スポーツ教室・大会開催費	社会教育課	スポーツ教室や各種スポーツ大会を開催し、住民相互のコミュニケーションを図り、心と体の健康増進に努めます	867	954	B	P41	P267
7 総合体育館維持管理費	社会教育課	総合体育館の円滑な管理運営に努め、スポーツの振興を図ります	264,208	71,010	A	P42	P268
8 運動公園等維持管理費	社会教育課	運動公園、町民会館スポーツ施設、豊丘むくろじ会館及び山海ふれあい会館の適切な維持管理を行います	7,029	7,762	B		P269
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 地域の伝統行事、文化・スポーツ活動などに積極的に参加する(個人)。
- 伝統行事の意味や歴史を学ぶ(個人)。
- 行事を負担が少なく参加しやすくするなど、地域で続く取り組みを考える(関係者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①伝統行事の存在理由を知らずにただ続けている、みんながやってるから自分も祭りの手伝いをしている、という人は多い。伝統の維持は「その町の住人である」というアイデンティティに繋がるので、押しつけがましくならないように、その意義を認知させたい。
- ②家族で祭りの参加をしているが、人数が少なく準備の負担が大きい。継承しつつ、有り方をかえていかないと存続は難しいと感じています。
- ③やはり小学、中学の教育が重要で地元の産業と将来性に取り組むことを考えるように促し、将来的にUターンしやすいような土壌を創っていくのがよいかと思えます。伝統行事は人手不足を考えて省力化、簡素化はやむをえないが歴史や意義を伝えていくことが重要かと思えます。
- ④自身は「農」を要に地域活性化を専門に学び研究していました。だいぶ経つので古い知識ですが、地域を活用して、人も物事の流れも豊かにしたい！精神的な豊穡を今でも目指しています。この南知多にはたくさんの方の豊かさの原石があります。磨き方次第で大きなソーシャルビジネスになると見込んでいます。なので、価値観の多様化がすすみ、個人が優先される昨今においても地域の伝統的行事へ参加したり、人脈を拡げてきました。そのなかで、課題をたくさん見付けることができました。豊かで実った心の住民が多いからか、助けられてばかりで、どんなに行政サービスに不満でも踏み止まり子育てをするのは、この地域独特の雰囲気のおかげです。ただ、出ていく理由も十分わかります。
- ⑤コロナ禍しているので、スポーツは大事ですが、やはり密やでかけるとなると中々出来ないこともある為、子供たちは授業(体育)などでヨガなどを教えて、心や体を動かす事を大事にして休まる体作りをして欲しいです。小中保育で取り組む方法で。
- ⑥区の男性だけで準備を進めると旧態依然で伝統行事がただのやつつけ仕事で、工夫も情熱も無い。祭りや盆踊り特化委員を推進させてほしい。区が考える事だが・・・
- ⑦地域の歴史をもっと知る事が出来る場所、機会があれば。
- ⑧コロナ禍で地区の祭礼や地区運動会等、子供が参加していた行事が2年に渡り中止となりそうです。昨年は祭りは開催しても神事のみ齋行され、住民、子供が参加する奉納行事は中止、今後のコロナ禍次第で神事だけの祭りが定着するのではと危惧される。
- ⑨全てを通して厳しい予算の中よくやっていると思います。
- ⑩町が実施しているスポーツ教室に毎週参加している。安くて健康維持に役立っている。沢山の種類の教室開催をお願いしたい。
- ⑪補助金を出しているだけで、具体的な指導が見られない。それぞれの団体や協会にどれだけ町の指導が生きているか疑問だ。また、スポーツや活動の地域への広報が、広報紙のほんの少ししか割り振られないし、毎年同じ内容しか掲載されない。足で書く広報紙でありたい。
- ⑫素晴らしい海の文化財があるのに、閲覧し見学する場所があまりにも可哀想。なんとかありませんか
- ⑬祭りなどの伝統文化が、地域の人口減少で維持できないのであれば、もっとオープンにすべき。他地域、町内外、日本、世界からも、参加できるような仕掛けを考えて、維持していけないか。
- ⑭現総合体育館は、内海在住者にはアクセスしにくい為、活用しづらい。
- ⑮子どもたちの、スポーツの選択肢を増やすには、それなりの設備や講師が必要。
- ⑯美浜町のように、日本福祉大学との連携を強めてほしい。もしくは、美浜町との連携を強めるべき。
- ⑰芸術やスポーツは生活に質を向上させるが、好みや生活に余裕が無いとできない。地域のお祭りもコロナを理由に縮小しても大きな不満はないみたいなのは、もともと不満があったのではないかと。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
79	85	↗							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・広報費や草刈作業の予算を充実させる ・内田家や梅原邸などが地元にあっても知らないため、広報や周知を行う
R4	
R5	
R6	

基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業

1. 現状と課題

本町の水産業は、豊かな漁場や良好な漁港といった強みから、愛知県内最大の水揚げ量、県内最多の漁業従事者を擁しています。また、水産業は本町の重要な観光資源でもあり、町民にとっても南知多町の象徴的な存在です。一方で、漁場の環境悪化による漁獲量減少や燃料費高騰などのコスト高、食生活の変化による消費量減少など、経営環境が悪化し、従事者の高齢化や後継者不足が続いています。

2. 目指すべき将来像

経営が安定し、水産業従事者や就業希望者にとって魅力ある水産業を目指します。また、若者をはじめとした町民にとっても、観光客にとっても、美味しい海の幸が本町の魅力であり続け、本町産業全体の価値創出の源泉であり続けることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・水産資源の持続可能性を確保するため、漁場の造成や水質の改善などの環境保全、栽培漁業や資源管理型漁業を推進します。
- ・新型コロナウイルスの拡大による消費の減少に対応するため、インターネットによる販売などの取り組みを支援します。
- ・水産業者等の設備の近代化支援により、生産性向上や、水産業従事者の就労環境の改善、衛生管理の強化を図ります。
- ・現代の生活スタイルに適した加工品、市場に出荷しても安い魚種の有効活用、輸出力の強化など、販売の安定化と高付加価値化を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 漁港一般管理費	建設課	町管理漁港である4漁港(大井、日間賀、山海、豊丘)の一般事務を実施します	850	667	B		P154
2 港湾一般管理費	建設課	町管理港湾である内海港の一般事務を実施します	241	372	B		P165
3 港湾施設維持管理費	建設課	町管理港湾の施設維持・修繕等を実施します	7,036	5,189	A		P166
4 漁業振興対策事業費	産業振興課	漁業生産基盤の向上や漁村・漁場環境の保全ならびに漁業経営の安定化を図ります	38,360	330,956	A	P52	P181
5 栽培漁業振興対策事業費	産業振興課	「獲る漁業」から「育てる漁業」への推進を図り、漁業経営の安定化を図ります	5,532	3,764	A	P53	P182
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- マルシェや市などに参加し、地元の水産物を楽しみながら購入する(個人)
- 地元の水産物の魅力(おいしさやレシピなど)をロコミやSNSで情報発信する(個人・事業者)
- 旬の地元水産物をメニューや品揃えに取り入れる(個人・事業者)
- 浜清掃に参加(個人・事業者)、漁具を海に落とさないよう管理する(事業者)など

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①某、魚介捌きYouTuberのように、この町に有益な情報発信をしたい。個人のSMSではよく掲出している。漁獲→生け簀→魚屋で刺身→自宅で食べる。これに馴れて離れられない。
- ②魚ひろば建て直し(拡大)、飲食店多数設置など。マルシェもやる。
- ③育てる漁業を漁業組合と連携して養殖可能な魚介類を育成して、地産地消や観光業との協業、就労人口増加を目指してもらってはどうか。
- ④漁協、市場の統合。
- ⑤インターネット発信で、地元の人より他県、他町の人の方がよく知っているようだ。情報(SNS)を発信する。自分たちが地元の魅力を知ること。
- ⑥魚中心の食生活、できるだけ地元の新鮮な魚を食べようとしている。年々種類によるが、漁獲量が減ってきている。漁師に聞いても原因がわからない。町や県で、原因を調べてほしい。魚がとれなくなれば、南知多町の存在価値はなくなり、限界集落になる。
- ⑦漁港にごみを捨てていかれる釣り客等が多いので、看板などをもっと立てキレイな港を目指したい。
- ⑧南知多町内であっても、地魚を出さない(養殖魚や冷凍ものを使って)飲食店や旅館がある。かたや地魚ふんだんに用いても立地などの条件でなかなか繁盛できないお店もある。地魚提供店・認定制度(仮)のようなものを作って、ランクに応じて(ほとんど地魚 / だいたい地魚 / 一部地魚 など)認定マークを掲げてもらったり、専用のサイトやマップをつくったりするのはどうか。地魚を出さないお店への意識向上の狙いもある。
- ⑨海岸清掃を行っているが、自分の活動がどれだけの価値があるが疑問に思うことがある。町は町民の活動を把握してほしい。
- ⑩最近の漁獲量の減少などの主な原因を、県などと協力し調査を行い、広く情報を伝えることが不安一掃と対策を打つかぎになると思います。伊勢湾の埋立(第二滑走路計画)や、福島原発の汚水の海洋放棄など、町の"反対"態度表明など必要と考えます。
- ⑪漁業者の高齢化が進み、後継者不足は深刻です。漁港の施設利用者が減少し、いずれ漁協は存続の危機に陥ってしまいます。老朽化し、使用しなくなった施設もありますが、取り壊されず放置されて危険です。
- ⑫無印良品の会社はウイグル綿を使った製品を扱っているのではと聞かれました。
- ⑬道の駅とか作ると良いと思う。
- ⑭漁業者自らが漁港を清掃すべき。海にタバコに吸い殻を捨てていないか? 漁港の整備などで町や県や国が多額の支出をしている事をあたりまえとせずしてほしい。サラリーマンは仕事場を整備してもらえない。
- ⑮栽培漁業も注力すべきと考える。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
84	80	↘							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・漁獲量が減っている。育てる漁業を進めて若者が漁業に携われるようにしてほしい ・ニーズに合っていると思うが課題がたくさんあるので解決に向けて推進してほしい ・行政の協働への姿勢は理解できたが、よく見えるようにすると良い
R4	
R5	
R6	

基本施策 2-2 豊かな農地と産物を活かした農業

1. 現状と課題

本町では、農業にとって気候条件が恵まれ、広大な優良農地や広域農道などのインフラが整備されているなどの強みがあり、高齢でも元気に働く農業従事者が数多くいます。
一方で、農畜産物の価格低迷など厳しい経営環境から、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加といった問題が生じています。

2. 目指すべき将来像

経営が安定し農業従事者や就業希望者にとって魅力ある農業を目指します。
また、農業を起点として、加工や販売、観光などの多様な産業が本町で価値を生み出す、付加価値の源泉として農業が活躍するとともに、多面的機能(良好な自然環境や景観を保全するなど、多様な機能)を発揮することを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・多面的機能の観点からも、農業を取り巻く環境の管理体制の構築に取り組みます。
- ・農用地の計画的利用、耕作放棄地の再生及び利用促進など、農業資源の活用を支援します。
- ・経営規模拡大やICT(情報通信技術)の活用など、生産性向上や作業負担軽減を支援します。
- ・6次産業化や体験型観光、輸出の促進など、農業の高付加価値化、販路拡大を支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 農業土木一般管理費	建設課	農地や農業用施設の保全と質的向上を図る地域共同の取り組みを支援します	11,334	11,199	B		P150
2 県営経営体育成基盤整備事業費	建設課	農産物を効率的に生産・出荷するため老朽化した農道の補修整備等を実施します	22,500	25,000	B	P48	P151
3 農業委員会活動費	産業振興課	農業委員会定例会を開催するとともに、委員による現地調査及び研修を実施します	2,124	2,250	B		P174
4 水田農業経営所得安定対策事業費	産業振興課	水田農業経営の安定を図るとともに、飼料用米・麦・大豆等の戦略作物への作付転換を支援します。	163	220	B		P175
5 農業振興対策事業費	産業振興課	農業振興を推進するため農業振興地域整備計画の適正な管理や各種農業団体等へ補助等を行います	23,114	25,862	B	P50	P176
6 農業用水対策事業費	産業振興課	愛知用水関連施設の維持管理に伴う農家の負担軽減を図るため、地元管理のポンプ電力料等の補助を行います	2,542	2,658	B		P177
7 畜産振興事業費	産業振興課	畜産経営の安定を図るため、死亡牛のBSE検査及びCSFワクチン接種等に係る経費の一部を補助します	368	398	B		P179
8 環境緑化推進事業費	産業振興課	住民の緑化に対する認識を高め、環境緑化を推進します	3,300	2,187	B		P180
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- マルシェや市などに参加し、地元の農産物を楽しみながら購入している(個人)
- 休耕地の農場活用活動に参加している(個人)
- 規格外や、出荷できない野菜の利用ルートを確認している(事業者)
- 旬の地元農産物をメニューや品揃えに取り入れている(個人・事業者)

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①地元野菜はヤナギの売り場ぐらいでしか買ったことが無い。地元農家の一覧(作ってる野菜やその連絡先)があると嬉しい。
- ②使われていない土地を移住者へ安くわけて、人口を増やす。
- ③農業を志す町民(または今後移住希望者)に、広く農業体験やこれらを照会する取り組みが求められる。特に現行の法規制など(緩和する特別措置など)を検討し、従事しやすくする。
- ④太陽光発電や風力発電の乱開発を止めさせる。農道の整備、点検をすすめるなどです。
- ⑤地域の農家さんから直接購入している。地域の農家さんは大変忙しく、儲かるような情報発信を自ら出来ない状態にある。需要と供給の交わしにくい部分をインターネットの活用で、生産物のロスをできるだけ少なくして収益を、上げるサポートをしたい。そこにWin-Winのビジネスモデルを構築したい。…という、創業の支援も国や県でたくさんやっているの、町でも広報や窓口としての役割を担って欲しい。
- ⑥道の駅設営。農産物等マルシェ出店しやすいものとする。JAとは別とし、カラーを新しいシステムで展開する。活性化のため。
- ⑦地産地消を条件とした市や店舗の誘致に力を入れてほしい。
- ⑧専業農家やNPOへの資金援助をお願いしたい。農業だけで食べていけるための援助を。
- ⑨兼業農家の離農がこれ以上加速すると、周辺農地や農道を維持できない。パイロット農地は大規模の専業農家が活躍しているが、それ以外の農地が活用されていないし対策も不十分だと感じる。高齢化する兼業農家の離農を食い止めない、その子供世代は職場がある他の地域に家を建て出て行ってしまう。基本施策2-6「価値ある産業を残す事業承継支援」には農業の後継者についての取り組みが無いようだが、兼業農家の後を継ぎやすくなるよう南知多独自の政策をして欲しい。
- ⑩学校、保育所の給食に、もっと地元の新鮮で安全な食材を使う機会を増やして欲しい。野菜も、なるべく有機の安全な食材を使って頂けると嬉しいです。
- ⑪所有を望まない農地の売買の促進をしてはいかがか。農地版の空き家バンク。
- ⑫現場(農家、農協、流通、販売者)の声を直接聞くことが重要だと感じた。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
79	80	↗							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	・荒れ地の対策など個人ではできないことについて、対処してほしい ・子どもに託せるような農地を残していきたい
R4	
R5	
R6	

基本施策 2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業

1. 現状と課題

小規模経営が中心となる本町の商工業では、人口減少に伴う地域経済活動の縮小や後継者不足による廃業等が見られることから、地元企業の振興、起業・創業の支援、雇用の確保が重要な課題となっています。

2. 目指すべき将来像

地域の特色や資源を生かした地元企業の振興や、起業・創業の支援により、地域の商工業が活性化し、世代、国籍を問わず魅力ある雇用の場が拡大することを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・関係団体と連携して地元企業の設備投資、商品開発、販路開拓等を促し、労働生産性を高めます。
- ・ICT(情報通信技術)を活用した熟練技術の継承や、新しい技術の導入や運用に必要となるデジタル人材の育成など、技能伝承や生産性向上のための人材育成を支援します。
- ・町内で生産された良質な農・水産物を、町内の製造業者により魅力あるデザインで製品化された製品を認定することにより、農業、水産業などと連携した6次産業化、ブランド化を進めるとともに、ふるさと納税への出品、SNS等のインターネットを活用した積極的な情報発信で地域ブランドを広めていきます。
- ・新型感染症の拡大防止と経済活動を両立するための事業継続の取り組みや、新しい働き方、生活様式に対応するための環境整備を支援します。
- ・観光産業を中心として、農業、水産業などの地域の特色を生かした新しい地場産業の確立を目指します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 ふるさと納税事業費	企画財政課	ふるさと納税制度の普及と産業振興の相乗効果により財源の確保をします	69,574	106,062	A	P47	P131
2 産業連携推進事業費	産業振興課	産業活性化を図るため、6次産業化の支援と、「ミーナの恵み」ブランドの認定及びPRを行います	408	890	B	P51	P178
3 産業まつり推進事業費	産業振興課	産業まつりを開催し、地域の活性化と地場産業の振興を図ります	0	3,200	A		P183
4 商工業振興事業費	産業振興課	町内3商工会に助成し育成強化に努めるとともに、県の中小企業への融資制度に協調する等により、町内の中小企業の活性化と振興を図ります	32,211	30,958	A		P184
5 消費者行政事業費	産業振興課	食料品等生活必需品の正量取引を確保するための商品量目検査及び町民の消費者被害を未然に防止するための教育・啓発活動を実施します	226	306	B		P185
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- お歳暮やお土産には、地域ブランド「ミーナの恵み」認定品を渡す(個人)。
- 商工会、観光、農業、水産業者など多様な産業と連携し、ニーズや付加価値のある製品開発などに取り組む(事業者)。・・・など

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①創業支援の窓口としてはほぼ機能していないと感じる。町からの広報は後手後手で、ただ上方機関と繋げているだけである。やる気のある起業家は行動が早いので、町が広報する前にとくに複数の機会やセミナーを押し込んでいる。自身も様々な機関や起業、創業の行動を起こしたが、町の情報の遅さに申し込みの意欲が湧かなかった。観光地、自営業が多く、人を集めて収入に繋がる仕事が多いが、後継者不足は後継者の子育てに支障が出るから町から出ていくというのもあるだろう。繁忙時に子どもを放置しなければならなかったり大変だからだ。ゆえに子どもを多く産み育てることも難しい。まず、受け皿がない故に嫁も婿も来ない。また、商工会はどうだ。形骸化した旧態のやり方のまま商工業者を縛り付けてはいないか。今、機能している有用な部分は税務会計の代行くらいだろうか。なぜ合併しないのか。町の補助金も無駄ではないのか。商工業者が財務面をデジタル化したら不要な存在にすらなるのではないか。
- ②3商工会が別々に運営するのは、メリットもあると思うが、デメリットの方が大きいと思う。
- ③後継者不足で店を閉めると街がさみしく成る。血縁関係でなくとも事業を継承、もしくは売買するM&Aのようなことを個人商店でも考えてみるべきだと思う。
- ④ミーナの恵みのブランド力が弱い。イメージがしづらい。”太陽と海の恵みミーナ”とかならまだ想像できる。また名古屋に住む若い世代では南知多の名前すら知らない人も多い。ある調査で、九州地方に住む人にとって福岡県は北海道並にブランド価値のある魅力的な地域だと結果がある。要はブランド価値を高めるのにやみくもに全国に手を広げるのではなく、同地域内(特に名古屋)にターゲットを絞って堅実に知名度を上げていくほうが結局のところ最も効率的であり、その副次的な作用として他地域へと波及してゆく、という方針でブランド戦略を立ててほしい。
- ⑤ふるさと納税が町財政にも、事業者にもとても有効と考える。しかし、高齢者の多い事業所には取組みにくい。ふるさと納税に登録し終えるまでのサポートが必至(担当者を1人増やしても費用対効果は充分あると考える)。
- ⑥南知多みかん酒の販促。
- ⑦観光客や地域住民のための「みちの駅」など2~3カ所作るべき。南知多のスーパーや商店の物価は他の町と比べて1~2割高く、独占状態です。安価な商品(農産物や海産物)を提供すべきです。
- ⑧ふるさと納税の返礼品の登録をもっと町内の事業者や自営業者に呼びかけて、パソコンが苦手な事業者へ町が写真や文章の用意を手伝うなど、登録のサポートをして欲しい。
- ⑨卒業生が町内で就職して、住んでみたい環境があまりにも乏しい。強烈な定住に特化したアクションプランを望む。
- ⑩南知多町は自然が豊かにあるので、山地などにある樹木の葉っぱなどを使って産業を産み出す。葉っぱを料亭や神仏関連企業に販売をする。年配者でも仕事は可能であると思う。働くことで健康を維持できるのではないのでしょうか、また収入を得られて社会との関わりを感じられることで、生きがいも感じられるのではないかと思います。(例:サカキやシビキなどは神棚や神社、仏壇などに、南天や紅葉もみじ、笹の葉などは料理の飾りとして使っている)
- ⑪特産品も大切だが、町民の生活に欠かせない商店等の事業継続に補助金や人材のマッチングをしてはいかがでしょう。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
84	81	↘							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税を増やすための努力が必要 ・南知多町に自然に来てもらえるまちづくりが必要 ・職員にも積極的な関わりをもってほしい
R4	
R5	
R6	

基本施策 2-4 何度も訪れたい観光・交流

1. 現状と課題

本町には海鮮料理、温泉、海水浴など、四季を通じての観光資源が豊富にあり、観光業は本町の主要な産業となっています。
一方で、近年は観光客数の減少、観光施設等の老朽化への対策、今後さらに多様化が見込まれる観光客の新たなニーズへの対応、感染症拡大という新たな脅威への対応が重要な課題となっています。

2. 目指すべき将来像

本町の持つ自然環境、歴史・文化、豊富な食を生かし、農業、水産業、商工業と連携しながら国際化にも対応できる魅力ある観光・まちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・観光協会と連携をして、来訪観光客の滞在時間の延伸、宿泊数増加を図ります。
- ・老朽化した観光施設等の適切な管理とともに、観光センター等のインフラ整備を検討します。
- ・展示会・イベント等への積極的な出店、SNS等のインターネットを活用し全国、海外へ情報発信を行う等、PRを強化します。
- ・姉妹都市等交流事業、知多半島や三河湾エリアでの協力体制など、他市町村との連携を図ります。
- ・観光関連事業者の情報発信や、外国人対応等のノウハウ取得を支援します。
- ・インバウンド観光が見込めない間も、地元や近場の方も含めた国内旅行者が安全安心に訪れることができるように、感染拡大防止の環境づくりや、地域の魅力の再発見と発信を行っていきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 一般企画費	企画財政課	住民との協働により、姉妹都市等交流、総合計画、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します	11,356	3,219	B	P64	P135
2 離島振興費	まちづくり推進室	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります	29,200	18,782	B	P65	P143
3 観光振興事業費	産業振興課	町観光協会と協力して、観光宣伝等を実施することにより、積極的に観光振興を推進します	43,469	31,711	B	P54	P186
4 観光資源保全事業費	産業振興課	観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により観光資源の保全を図ります	44,218	27,209	A	P55	P187
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内の色々な場所に積極的に出かけ、埋もれた良さを見直す(個人)。
- 地元ならではの情報を口コミやSNSなどで発信、来訪者にお勧めする(個人)。
- 史跡の保存・維持清掃や、再生活動に参加する(個人)。
- 体験型観光や、工場見学などの産業観光に取り組む(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①何度も訪れなくなるという持続可能性で言うならば、リピーターは少ないのではないかと。自身は全国各地を旅して、居住してきた。愛知県という地域柄だけでなく、この町もしばらくは肌に合わなかった。世間から10年くらい遅れた価値観とはきいていたが、郊外(本町)へ来るとさらに10年ほど時代や価値観が遅れているように感じた。令和に昭和の感覚を知ることができる。なので、旅館や観光施設の口コミや評価も全国から見たらそこそ低い。なかなか接客や清掃が酷くても、風光明媚な観光資源のおかげで人が来ることにあぐらをかいている。自身は各地で各種接客業にも従事し、高い評価を得てきたが、日帰りでの施設利用でも、社員教育(女将含む)ができておらず唖然としたことが多々ある。実際に旅館で従事したが、意識が低い。県民性か地域柄か仕方がないのかわからないが、遠方からみえるお客様は落胆されかねない。この町が好きで、この町にずっと住んでいる郷土愛、称賛します。しかし、外も見てください。普段はソレで良いですが、お客様を迎え入れる時は相手の需要を想像し、喜んでもらえるよう考えましょう。何度も来なくなるのは心に豊かさが得られる…というのは大きいです。どんなに魚が美味しくても、おもてなしができていなければもう来ません。どんなに嬉しくても素っ気なければもう来ません。どんなに美味しくても、トイレが汚いともう来ません。良いところには良いお客様が来ます。素っ気ない所には素っ気ないお客様が来ます。観光業全体で、おもてなしとは、本当の豊かさとはという研修が受けられると良いかもしれません。マネジメントしてくれるコンサルタントを町や観光協会が招いてもいいでしょう。最後に、グリーンツーリズムの概念は有効だと思います。農山漁村地域において心豊かな休暇を過ごす…と言った概念です。自ら都市部のお客様に楽しんでもらいたいという内発的力の大きい方に協力いただき、里山や農地、耕作放棄地を生かして、農作業や環境教育、ただ地域のものを食べながら自然の中でゆっくり過ごす時間を提供するなど、その辺の荒れた土地が町のためにもなるビジネスの舞台になるかもしれません。
- ②観光地にするのは大事ですが、観光客のマナーが悪い。後、道路や街灯、道に沿って木や草が生い茂っていて凄く危ない。美化、維持管理などしっかりやって欲しい。
- ③お魚センターや道の駅など、新規のものしか発展の見込みはないと思う。
- ④史跡の保存をもっと区に働きかけてほしい。
- ⑤南知多には戦争遺跡や歴史的な遺跡がたくさんあるのに、埋められたり、放置されたままである。元山海小へ郷土資料が移転されたが、いつ整理され公開されるのか？
- ⑥師崎港のターミナル整備と駐車場までの進入路の確保(駐車場待ちで渋滞)。
- ⑦大都市名古屋を無視して南知多の観光を考えるべきではない。逆に言えば、名古屋の人々に呆れられているような地域にいくら他の遠方より観光客を呼びこんだところで絶対にリピーターにはならない。海や自然が豊かな田舎は全国にいくらでもある。それ以上に、車や電車での移動1時間圏内に人口数百万の大都市(しかも数年後にはリア開通)が存在することが南知多にとって最高の"観光資源"であると素直に認め、それに沿った(アンケートや市場調査を頻繁に行い、ニーズを的確に捉える)戦略を軸とすべきである。と思う。
- ⑧道路の整備、車、自転車、バイク、走りやすい道。インスタ映えスポット。小・中学校(特に小学校)で、地域の事業者を巻き込んで地域の魅力を知って欲しい。
- ⑨南知多を一周しても、どこにどんな観光があるのか見えません。道並みに看板や案内板をもっと増やす必要があります。お寺巡りやサイクリング(ツーリング)愛好者の休憩場所(水、トイレ)などを増設し、観光をアピールする必要があります。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
82	84	↗							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・離島を全国にPRする方法を検討しなければならない ・観光客が満足し、再訪したくなる取り組みが必要 ・まちづくり協議会・NPOとの連携
 一部努力を要するが概ね順調	
R4	
R5	
R6	

基本施策 2-5 新たなチャレンジを創る起業支援

1. 現状と課題

社会の急速な変化の中でも地域産業の衰退を防ぎ発展させていくため、既存の枠組みにとらわれず活躍できる人材を呼び込み、起業等を促進することが求められます。こうした中、本町の強みである豊かな自然は、移住希望者等の、自然豊かな地方で働きたいというニーズを取り込むための地域資源となり得ます。また、ICT(情報通信技術)の進歩により、地方でのサテライトオフィスなど場所を選ばない働き方を可能とする技術的環境や、地域の課題解決に取り組む社会的起業や企業の社員による週末起業等が広がっているといった機運など、起業へのチャンスが拡大しています。

2. 目指すべき将来像

起業・新規就業を促進することで、産業を発展させるとともに、人材を呼び込み定着させ、人口減少に伴う諸課題の解決にも貢献することを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・国の補助金をはじめとした支援制度等のワンストップ相談窓口、空き家の利活用等による開業コストの低減などにより、起業・新規就業や、開業等後の成長を支援します。
- ・マッチングサイトなどの活用や移住希望者に伝わりやすい情報発信、実際に起業した方との意見交換の機会等により、支援内容や事例等の積極的な情報発信を行います。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 まちづくり推進事業費	まちづくり推進室	地域のまちづくり協議会(7団体)の情報共有と連携及び情報発信のため、南知多町まちづくり協議会を運営するとともに、移住定住者が積極的な参加・交流のできるまちづくりを進めます	7,323	5,777	A	P66	P144
2 農業振興対策事業費	産業振興課	農業振興を推進するため農業振興地域整備計画の適正な管理や各種農業団体等へ補助等を行います	23,114	25,862	B	P50	P176
3 産業連携推進事業費	産業振興課	産業活性化を図るため、6次産業化の支援と、「ミーナの恵み」ブランドの認定及びPRを行います	408	890	B	P51	P178
4 漁業振興対策事業費	産業振興課	漁業生産基盤の向上や漁村・漁場環境の保全ならびに漁業経営の安定化を図ります	38,360	330,956	A	P52	P181
5 商工業振興事業費	産業振興課	町内3商工会に助成し育成強化に努めるとともに、県の中小企業への融資制度に協調する等により、町内の中小企業の活性化と振興を図ります	32,211	30,958	A		P184
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内の起業者へ、場所の提供や、取引先等の紹介などの情報提供(事業者)。
- 起業者と連携し、新たなビジネスに挑戦する(事業者)。
- 起業者の事業や商品・サービスを紹介する情報を発信する(事業者)。
- クラウドファンディングなどを通じて起業者を応援する(個人)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①「場所を選ばない働き方を可能とする技術的環境整備」のために、町としてインターネット回線の強化が出来ないか？また、町内の情報・データをネット上で開示してビッグデータ活用を行ったり、農業・漁業・観光などの各産業のICT・IoT活用を進めたりするなど、現代の時勢に合った施策をして頂きたい。
- ②士気を高める誘い入れ文句はあっても、手法や、当町内での事例、具体的な手続きの案内までは至っていないので、町内の先輩起業創業家のうち、ビジネス連携希望の先行者がいれば結んであげるのも行政でできないか。自身も同系統の創業者と繋がってより効率的にすすめたい。
- ③各地区の移住定住者地区の組織との交流に町がもっと積極的に介入しないと個人的な交流はあっても、公式な会合には声はかからない。彼らの意見や希望は反映されない。
- ④特に技術的環境の整備は早急に。また起業の際と起業後のサポート窓口もわかりやすい形で設置して、広く周知させてほしい。
- ⑤Wifiがあれば南知多でも仕事ができるよう整備する。
- ⑥きずなの会の役員をしていますが、メンバーは中高年ばかりです。若年層のメンバー加入が課題ですが、ボランティア＝無償では中々自分の生活でいっぱいといった若い人達にとっては無関心なのかもしれません。
- ⑦ふるさと納税の返礼品の登録を兼業農家などにも呼びかけて町が登録のサポートをして欲しい。兼業農家も良質な農産物(キウイいちじく柑橘類びわ等)を生産しているが、個別販売するノウハウを持っていないので安く卸さざるを得ず収入が少なく安定しない。ふるさと納税は登録さえすれば出荷が簡単なので、個別販売に不安を感じる生産者でもハードルが低く始められる。なのにパソコンが苦手だったり写真や文章を用意するのが苦手だったりという理由で登録に至らないのが非常にもったいない。南知多の魅力を発信するのにも低コストで最適だと思うし、付加価値を付けて販売できることを兼業農家さんにも知ってもらい、営農を続けてもらいたい。
- ⑧観光にまつわるものや、地元の人たち向けに楽しさや豊かさが増すような新規事業者を支援する制度があると、おもしろい町になると思う。
- ⑨食べ物以外にミーナブランドはないのだろうか？プラスチックとかは特産品にはならないのだろうか？
- ⑩官民共創プラットフォーム南知多町版の構築。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
74	80	↗							89

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	・ふるさと納税と連携した新たな商品の充実
R4	
R5	
R6	

基本施策 2-6 価値ある産業を残す事業承継支援

1. 現状と課題

今後、後継者不在のため廃業する事業者の増加が懸念されるため、事業を承継する後継者を確保し、価値ある既存産業が受け継がれていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

本町の経済を支える事業者の事業が円滑に引き継がれることで、地域に必要な製品・サービスが将来も供給され、雇用の場が確保されることを目指します。
さらに、地方での就業や移住を望むUIJターン人材が事業を引き継ぎ、当該事業が発展することで人材をさらに惹きつける好循環の醸成を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・町内の小規模事業者のイメージが向上するよう情報発信等に取り組みます。
- ・後継者・新規就業者獲得に向けた情報発信、空き家等を利用した住居支援、町内の事業者等の元で行う体験・研修により、後継者・新規就業者の発掘や育成を支援します。
- ・移住等希望者と事業者を繋ぐ機会の創出や移住希望者に伝わりやすい情報発信、事業者・承継希望者のニーズに即した支援策を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 商工業振興事業費	産業振興課	町内3商工会に助成し育成強化に努めるとともに、県の中小企業への融資制度に協調する等により、町内の中小企業の活性化と振興を図ります	32,211	30,958	A		P184
2 観光振興事業費	産業振興課	町観光協会と協力して、観光宣伝等を実施することにより、積極的に観光振興を推進します	43,469	31,711	B	P54	P186
3 観光資源保全事業費	産業振興課	観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により観光資源の保全を図ります	44,218	27,209	A	P55	P187
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 町内事業者の事業や商品を紹介する情報を発信する(事業者)。
- 異業種間の交流・連携の場を作るなど、合併・買収をサポートする(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①町外からも人が来るように、ハローワークなどにも求人を出す。
- ②南知多町は、内海、豊浜、師崎と3つの商工会があるが、武豊町など大きい所では1つしかない。今後、小中学校など町全体として考えるのなら、商工会も1つにして、町全体として考えていかないと連携ができない。町が育たない要因の1つに思う。昔のしがらみを解き、新しい風をいれるべき。
- ③町内の事業者はもっとインターネットでの情報発信・SNS活用を上手に使いこなすべきだと考えます。町内の情報をネットで調べようとしても、なかなか求める情報に行き着きません。現存のページについては、利用者目線での見直しをして頂きたい。また、事業者対象の情報発信・SNS活用講座の実施など検討されてはいかがでしょうか。
- ④必要な産業、事業所でも後継者がいないならば、吸収合併し買い取る会社もある。後継者不足の企業はインターネットで調べても見付からないことがあるので、具体的な企業情報を拾えるように、町のサイトでも外部委託でも認知されやすいようにする。
- ⑤廃業を予想している黒字企業と吸収合併、事業継承希望の者を仲買すると良いと思います
- ⑥現在でも取り組んでいるが、海無し県の学校の体験学習の受け入れを、町も積極的にサポートして、町の魅力を発信し、訪れた生徒が成長し再び訪れたいような事業とする。
- ⑦小学生や中学生の職場体験を受け入れて、AIに負けない、必要不可欠な職業である事を知ってもらう。後継者に悩む事業者に対しては継承を前提とする従業員の賃金等を補助する。
- ⑧全ての産業、頑張っている人の紹介。人材バンク(派遣ではない)を立ち上げ、情報として共有してはどうか。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
77	74	↘							93

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	・町全体が活気づくような事業が必要 ・やる気のある人とのマッチングできる仕組みが必要
R4	
R5	
R6	

基本施策 2-7 働く環境づくり

1. 現状と課題

本町の産業を持続可能なものとするため、次のような環境整備が必要となっています。

- ・人手不足の深刻化に対応するための、多様な人材が活躍できる職場環境整備
- ・農業用施設、漁業用施設等のインフラの老朽化対策
- ・産業の高度化を進めるための通信網の整備

2. 目指すべき将来像

町内で事業を営む事業者の生産活動や物流等が円滑に行われ、効率的に事業を営むことができる、インフラの整備・維持を目指します。
女性や高齢者、外国人等、誰もが働き続け多様性を発揮し、付加価値の高い仕事ができる、町内の事業所等の職場環境の整備を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・南知多町で女性や高齢者、外国籍町民、障がい者等、誰もが個々の能力を発揮できるよう就労を応援します。
- ・子育てしながら仕事しやすい環境など、事業所等のワークライフバランス(仕事と生活の調和)への理解を促進するとともに、環境整備への取り組みが求職者に伝わるよう情報発信を支援します。
- ・役場が率先して子育てと仕事を両立できる職場環境の整備に取り組むことで、南知多町全体の職場環境改善への機運を醸成します。
- ・技能実習生等の外国籍町民が地域にとけこみ、安心して働くことができるよう支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 職員福利厚生費	総務課	職員健康診断、産業医面接指導など職員の福利厚生に係る事務事業を実施します	2,009	2,131	B		P94
2 保育所一般管理費	健康子育て室	保育サービスの充実を図ります	150,017	128,392	A	P23	P229
3 放課後児童健全育成事業費	健康子育て室	放課後児童クラブの充実を図ります	8,628	11,556	A	P25	P231
4 労働環境対策事業費	産業振興課	労働環境の改善支援、雇用の促進、勤労者の住宅難の緩和を図るため、労働行政の円滑な運営に努めます	6,006	3,455	B		P173
5 農業用施設維持管理費	建設課	農道、水路、ため池など老朽化の著しい農業用施設の維持修繕や農地の保全及び農業生産基盤整備を実施します	12,359	10,739	A		P149
6 漁港建設事業費(公共)	建設課	漁港施設の長寿命化を図りつつ、大規模地震・津波に備えて、災害に強い施設整備及び漁業従事者の労働環境改善を図るための施設整備を実施します	84,048	109,750	A	P49	P156
7 商工業振興事業費	産業振興課	町内3商工会に助成し育成強化に努めるとともに、県の中小企業への融資制度に協調する等により、町内の中小企業の活性化と振興を図ります	32,211	30,958	A		P184
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

○技術の進歩についていくための学びを続ける(個人)。
 ○女性や高齢者、外国籍住民、障がい者など多様なひとが働くための、それぞれの環境に合わせた働き方や時間帯を工夫する(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①働く場所がない。働くには生活航路である観光船を使用しないと働けず、時間も決められ中々働きたくても働けないのが現状。(働くには、時間、お金、人材が必要)。
- ②これくらい我慢すればいい、と職場環境の改善は後回しにされがち。IT導入、wi-fi設置など明確な目的に沿った補助金制度があればそれをきっかけに改善が進むと思う。
- ③「南知多町人口ビジョン」では、子育てしながら働きやすい職場づくりに「取り組む必要を感じているが取り組めていない、取り組んでいない」と回答した町内の事業所は70%以上にもなる。例えば愛知県がすすめる「ファミリー・フレンドリー企業」に登録すると、社労士のコンサルを無料で受けられ、中小企業融資制度の対象企業になったり、金融機関から金利優遇され、自治体の入札でも優遇される。このような県の取り組みを利用して、町からも町内の事業所へ登録を薦められないか。役場や商工会にポスターや冊子を置いてもらうなど周知を。
- ④廃校が増えるので、そういう場を利用して、地域貢献になる学びの場、憩いの場として、何かをしたい人に仕事の間を提供して、働く場を年齢幅広く募集したり、その告知を町と連携して行ったり、何が学びたいかを募集したりして、お年寄りから子どもまでが集える憩いの場、そこで生まれる働き場があると、みんなにとって良き循環が起こるのではないかなと思う。
- ⑤いわゆる弱者以外の人は少ない。弱者の困り感を知る努力が必要で、町民に対しても、知ってもらう場を設ける。小さな事業者でも従業員や専従家族に対する福利厚生の大切さを知ってもらい、働きやすい職場を作ってもら。長い目で見ればプラスになる方法を考えてもらう場を。
- ⑥官民間問わず、働く環境について選ばれる理由に繋がる町内の事例を紹介してみてもどうか。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
81	82	↗							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  概ね順調	・前年踏襲の予算編成 ・もっと支援の充実をしてほしい(テレワーク等) ・役場における女性管理職の割合 ・役場から職場環境改善行動を
R4	
R5	
R6	

基本施策 3-1 まちと命を守る防災

1. 現状と課題

本町は、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されるなど、大規模地震による被害が危惧されており、災害発生時のライフラインや建物の安全性の確保、孤立化防止対策、集中豪雨や台風による災害の防災対策、各種災害発生に対する防災対策の充実が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

建物やインフラが必要な災害耐性を有し、消防・防災施設等が有効に機能し、事業者や町民が災害対応に取り組むことで、安心して生活し事業を営み、いざ発災した際には一人でも多くの命が守られること、早期の復旧、復興を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・情報収集・伝達体制の強化や、防災訓練等により、町の防災力向上に取り組みます。また、必要な消防・防災施設等を維持していきます。
- ・災害時の緊急物資等輸送のため、道路、橋梁、漁港、港湾等の耐震化を進めます。
- ・公共施設の耐震化を進め、住宅等の耐震化を支援するとともに、避難路の整備を進めます。
- ・自主防災活動の支援、要配慮者対策、防災教育等により、地域防災力を強化します。
- ・発災後、本町が早期に復旧、復興が行えるよう対策を進めます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 消防推進事業費	防災危機管理室	消防団の主な行事である消防操法大会・観開式・出初式を行います	124	4,393	B		P114
2 消防施設等維持管理費	防災危機管理室	消防詰所・車庫及び消防自動車等の消防施設等の維持、管理に努めます	7,357	6,116	B	P60	P116
3 消火栓整備事業費	防災危機管理室	火災等に対応できるよう、消火栓等の適正な維持管理、整備に努めます	7,256	6,382	B		P118
4 防災対策事業費	防災危機管理室	町民等を災害から守るため、警備・訓練・研修の実施、防災設備の維持管理を行います	24,859	19,014	A	P62	P120
5 災害対策事業費	防災危機管理室	非常食の備蓄、避難所備品の購入及び自主防災組織に対する支援を行います	12,264	10,439	A	P63	P121
6 防災施設維持管理費	防災危機管理室	町民等を災害から守るため、防災施設の維持管理を行います	6,090	7,378	B		P123
7 防災・減災施設整備事業費	防災危機管理室	南海トラフ巨大地震・津波等に備え災害に強いまちづくりを推進します	36,680	49,776	C		P124
8 急傾斜地崩壊対策事業費	建設課	人命の安全を守るため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し負担金を支出します	12,379	6,500	A		P163
9 住宅耐震改修費	建設課	旧建築基準の木造住宅について、耐震対策を推進します	2,302	4,158	B	P70	P171
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 事業継続計画(BCP)を策定、従業員の消防団活動に協力する(事業者)。
- 住宅の耐震化、家具の固定、火災報知機の取り付け、非常用備蓄、避難・消火訓練への参加など、日ごろから備える(個人)。
- 災害避難カードや防災カルテを家庭で作成する(個人)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①他の地区は海拔の高いところに避難施設が確保でき、安全に対する施策がなされている。内海地区では、海拔の高いところに施設がなく、2次避難場所が不安である。住民の避難意識はしっかりしていると思う。我が家もいろいろな対策をしている。
- ②障害がある方や高齢者は津波到達までは時間があるので、発災後いち早く近隣のサポート受け皆で逃げる。町は避難所の充実を計ること。避難経路の整備。
避難通路に指定された道路の整備、古屋の倒壊が危惧される。外国語の津波避難標識、道路案内板設置。
- ③巨大な津波が来たら、南知多町はほぼ沈むと思います。地盤も緩く、海拔が低い所に住んでいる人がほとんどです。高台の避難所で生活できる施設等がもっと必要ですし、高齢者が多いので、避難すら困難ではないかと思えます。
- ④保育園では保護者会が災害時用に全園児分のペットボトルの水を少量購入しているが、どこまでを町民側が負担するのか。そして行政が用意している備蓄分は十分なのか。災害時に避難所で使用するプライバシーが守られるテントなどの備蓄は十分にあるのか。避難所における授乳室の設置は乳幼児の災害時生存率や健康に大きく影響する。近年は液体ミルクが普及したが災害時に取り扱いが難しい。そういうノウハウを各避難所指定施設で情報共有できているか。
- ⑤必ず地震や、津波はくるからその後の避難所で困らないようにインフラの早期の復旧などをできるようにしてほしい。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
85	87	↗							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い、HPの周知は高齢者には不十分、広報等も月に1回しかないため周知が課題 ・防災訓練が年に1回は必要、町から区へ強い要望を
R4	
R5	
R6	

基本施策 3-2 つながりを活かした交通安全と防犯

1. 現状と課題

本町における交通事故発生件数は、半田警察署管内※で最も少なくなっています。しかし、公共交通が充実しておらず、主な移動手段が自動車であるため、高齢者による交通事故の割合が高くなっています。

防犯については、犯罪者が一番嫌がるのは地域の連帯と信頼感であり、近所づきあいが活発で地域コミュニティがしっかりとしているまちは、犯罪に強いとされています。本町では半田警察署管内で最も犯罪発生件数が少なくなっており、町民同士のつながりが残っていることがその一因と考えられる一方、犯罪の少なさゆえに、防犯意識が低くなっているという課題もあります。

※ 1市5町(半田市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)

2. 目指すべき将来像

交通安全と防犯について、町民の意識の向上や地域ぐるみの活動の推進などを図り、引き続き交通事故と犯罪の少ない安全なまちを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・町、警察、その他関係団体が連携した、啓発活動を実施します。
- ・各種媒体を活用した、交通安全と防犯に関する広報活動に取り組みます。
- ・地域行事等の多くの方が連れ立って参加する機会を捉え、効果的な啓発を実施します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災危機管理室	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	1,642	1,744	B		P106
2 交通安全施設整備費	防災危機管理室	交通安全施設(防護柵、区画線、カーブミラー等)の新設工事を実施します	2,057	400	B	P58	P107
3 交通安全施設維持管理費	防災危機管理室	交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します	1,911	1,854	B		P108
4 交通指導員設置費	防災危機管理室	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します	3,550	5,278	B		P109
5 防犯対策費	防災危機管理室	犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます	2,199	2,892	B		P110
6 空家等対策事業費	まちづくり推進室	南知多町空家等対策計画に基づく空家等対策事業を実施します	4,737	4,814	A		P146
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- ご近所同士の声掛けや会話など、ご近所づきあいを大切にする(個人)。
- 外出時の施錠、空き巣被害予防(家の周りに脚立等を置かない等)、放火・火災予防(家の周りに燃えやすいものを置かない等)など、防犯に気を付ける(個人)。
- 自動ブレーキ搭載の自動車に乗るなど、事故防止に努める(個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①近隣は空き巣が多いが、年配のご近所さんや同世代家族が大概いるので地域の目があって良い。さらに防犯を考えるならば、防犯カメラ普及に補助金を充ててもらえると犯罪発生時にどこかの防犯カメラには撮られているかも。
- ②南知多町を特区に指定又は独立し、高齢者の事故を無くす為にカーシェアリングを解禁すべきだと思います。防犯は各家に防犯カメラの設置を進めるとよい。
- ③老人の病院や買い物などの交通手段を町が保障すれば、免許書返上も進み、交通事故も減ると思う。
- ④安全登校のために、横断歩道に毎日、父兄や地域組織の役員さんが見守り誘導して下さい。毎日であり大変な負担である。篠島にも交通指導員の配置を希望します。
- ⑤町内の循環バス増やしてほしい。乗り合いやタクシーとか。
- ⑥犯罪発生件数が少ないならば、逆にそれをもっとアピールしては？安心安全なまち＝南知多のイメージを高めることで町民がそれを誇りに思えるようになれば、自然と意識も高まるのでは…たぶん。
- ⑦まずはあいさつ。
- ⑧施錠にたいする意識は低い地域だと思う。安全な町であるという意識が高い。
- ⑨空き家対策の重要性、防犯にも通じます。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
90	85	↘							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラがついていることをアピールする ・小回りの利くバスを充実したら免許を返納する人が増え、交通事故が減るのでは
 概ね順調	
R4	
R5	
R6	

基本施策 3-3 資源を活かす土地利用

1. 現状と課題

三方を海に囲まれた本町は、各地域の特性に合わせた市街地形成、地域産業がありますが、若年層の人口の流出が続き、単身高齢世帯の割合が年々増加していることから、空き家が急速に増加しており対策が必要となっています。人口減少や空き家、空き地の増加に歯止めをかけるためにも、地域の特性を活かした土地利用が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

本町の豊かな自然環境を保全しつつ、町民の生活を支える機能の維持、集約を図るため、土地や建物の効率的な活用と、産業の振興に繋がる適切な土地利用を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・管理不全な状態にある空き家については、所有者に対して適切な管理を求めていきます。
- ・土地・建物所有者への啓発や、空き家の利活用の提案、相続相談等の支援に取り組みます。
- ・快適な住環境を維持するとともに、住居と産業を適正に配置するための土地利用や、コンパクトで災害等にも適応したまちづくりについて、実行可能な将来目標を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 空き家等対策事業費	まちづくり推進室	南知多町空き家等対策計画に基づく空き家等対策事業を実施します	4,737	4,814	A		P146
2 国土法事務費	建設課	国土利用計画法等に基づく届出・申出の受付事務を行います	8	8	A		P148
3 地方創生推進事業費(空き家・まちづくり推進事業)	まちづくり推進室	協働と連携のまちづくりの推進と定住・交流人口の増加を目指します	12,009	16,800	B	P67	P145
4 管財事務費	企画財政課	公有財産(土地)の管理等に係る事務事業を実施します	1,869	403	B		P133
5 都市計画一般管理費	建設課	都市計画法及び建築基準法に基づき都市計画事務を実施します	23,468	1,380	A		P168
6 農業委員会活動費	産業振興課	農業委員会定例会を開催するとともに、委員による現地調査及び研修を実施します	2,124	2,250	B		P174
7 まちづくり推進事業費	まちづくり推進室	地域のまちづくり協議会(7団体)の情報共有と連携及び情報発信のため、南知多町まちづくり協議会を運営するとともに、移住定住者が積極的な参加・交流のできるまちづくりを進めます	7,323	5,777	A	P66	P144
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 自身の土地・建物を正しく登記したり、常に使える・提供したりできるように管理する。
- 登記・相続などのアドバイス、建物を良好な状態に維持するためのリフォームなどを積極的に展開する(事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①空き家が増えることは、治安も悪くなると思う。他方からの移住者や、活用したいと思ってくれる方への特典を考えたらどうでしょう(固定資産免除とか)。
- ②週末田舎暮らし需要に応えるセカンドハウス(別荘ではなく)など、ピンポイントにターゲットを絞っての売り出し。その際購入者の税制面も優遇されるように取り計らうなどwinwinの関係になれるよう考慮する。
- ③特定空き家になる前にどうするかを個人で決めておく。必要性をもっと理解してもらおう。情報発信が重要だと思います。
- ④居住できる基準を満たす空き家がなく、空き家バンクもしばらく物件をみかけない。土地も値上がり始めているからかめっきり空き家バンクで見ることが減った。時代の流れとして注目されている空き家バンクだから、もっと登録があっても良いようにおもうが、駐車場や、太陽光発電施設にされない保証はないので、その後の利用まで指定して欲しい。「家を建て住むこと」と。せめてある程度便利な内海だけでも下水道整備や新興住宅地整備、誘致などはできないか。デジタルインフラの整備もすすむといい。そうすると、子育て世代がとりあえず住みに来るのではないか。リモートワークができる家庭では魅力的な土地ではないだろうか。
- ⑤人口増加は全国的にゼロサムゲームで難しいので住みやすい町にしたらどうか。宅地を整備し、景観のよい「～ヒルズ」のように。道路も整備する。
- ⑥膨大な数の空き家や、空地の調査を町として本格的やっけて欲しい。
- ⑦空き家バンクの利用方法を多様化可能とし、リフォーム費用の助成金を助成し、定住期間を設定し満たした借家人は、返済免除として定住者の定着をめざす。
- ⑧隣家も空き家であり、地域の空洞化に対して危惧している。草刈りを自主的に行っているが、建物がいつまで耐えられるのか心配である。我が家も高齢化しており、10数年後には空き家になることが予想される。整理を始めてはいるが、不安は尽きない。内海地区は、新築家屋が多い方かと思うが、豊浜や師崎は過疎化が目立ち心配である。
- ⑨空き家が多くて通学路が心配。
- ⑩リフォームなどの支援など色々あるのであれば島民の方に進めて教えて頂きたい。(補助)島外からも大事ですが、島民の方に補助制度などあれば。
- ⑪家を建てたくても道路の規制で建てられないとか、従来の地域が活用できないのは過疎を助長している。
- ⑫空き家バンクに、紹介だけでなく、移住者むけのフォロー窓口があると良いと思う。
- ⑬空き家バンクだけでなく、耕作放棄された農地を農業利用で借りられるように農地バンクの取り組みもして欲しい。
- ⑭移住者支援は、住む家(空き家バンクの紹介)だけでなく、暮らしの困りごとへの相談や地域や関係機関と結びサポートするワンストップ窓口が必要だと思う。
- ⑮相続登記の促進。相続人が不明な空き家を町が処分できる制度をつくる。建て替えを前提に安価で売るなど。
- ⑯人口の減少の、歯止めがかかる対策が必要で、結婚して、住みたくても、南知多町には、あまりなく、町外へ出る人が多くなる原因は、交通の便・子供の学校の通学の事情・土地が高くて買えない、新築も自分では資金もない、といった事情も多々あるのではと思います。まずは、住み続けられる環境のある、地域作りが必修だと思います。取り分け通勤のための経費がかかる、原因の解消の基本構築が優先される、ことが重要だと思います。空き家を、増やさない為にも。
- ⑰今後も増加するであろう空き家問題、特定空き家への対応策について官民共創の視点で取り組みたい
- ⑱土地の価値の急減のなか、どう土地を使っていくか、皆で考えていくべきだと思います。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
74	77	↑							89

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	・移住者が増えグローバル化が進むと若干怖い、今いる人が減らないことが一番良い ・空き家バンクは行政書士等と連携をとってスムーズにいくように
R4	
R5	
R6	

基本施策 3-4 安心な暮らしを支えるインフラ

1. 現状と課題

道路、港、水道などは、暮らしや経済に欠かせないインフラであると同時に、道路や港、海岸は、本町の緑や海などの景色を楽しむことができる観光資源でもあります。一方で、インフラの老朽化対応や安全を確保するための管理、公共交通の維持等が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

安心して町民が住み続け、観光客等が訪れ、事業者が活動をするための、生活と地域経済の基盤として、安全なインフラや公共交通を守っていくことを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

・道路については、幹線町道の再整備、生活道路の維持修繕、安全な歩行空間の確保など、快適で安全な道路環境の整備を進めます。
 ・港湾・漁港・海岸・公園・町営住宅・駐車場については、老朽化した施設の点検、補修、改修等を行うとともに、全庁的な再配置方針等の必要性の検討を進めます。
 上水道については、耐震性の向上を図るとともに、効率的な経営に努めます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 水道事業対策費	企画財政課	安全で安定した水の供給を維持するため、水道事業が行う新設・改良の一部に対し補助金を交付します	115,034	43,007	B		P136
2 土木施設維持管理費	建設課	小規模な土木施設の修繕、倒木処理、樹木の伐採及び道路の路肩・法面の草刈りを実施します	29,398	29,010	B		P160
3 道路橋りょう維持補修事業費	建設課	安全で快適な住環境整備のため、道路橋りょうの維持補修を実施します	105,744	50,000	A	P69	P161
4 河川維持補修事業費	建設課	大雨時等の浸水や氾濫を防止するため、河川の未整備箇所や老朽箇所の改修を実施します	8,287	3,000	B		P164
5 港湾施設維持管理費	建設課	町管理港湾の施設維持・修繕等を実施します	7,036	5,189	A		P166
6 住宅維持管理費	建設課	町営住宅の修繕・保守点検等の維持管理を実施します	2,104	679	B		P170
7 公園維持管理費	建設課	遊具の修繕や樹木の剪定など都市計画公園の適正な管理を実施します	9,469	9,047	B		P169
8 漁業集落排水事業特別会計	水道課	処理場等の適切な維持管理及びポンプ施設等の整備・更新に努めます	90,516	93,400	B		P190
9 水道事業会計	水道課	施設の適切な維持管理及び管路の耐震化に努めます	997,297	1,011,294	B	P71	P191
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 道路・港湾などの異常や危険個所を発見したら、町役場や管理者に通報する。
 - 道路沿いの樹木の剪定など、インフラ施設に隣接する所有土地・建物を管理する。
 - 道路の補修など、軽微なインフラ整備をする。
- (上記すべて、個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①道路、街灯、道の両サイドなど美化して頂きたい。木・草など生い茂っていて凄く危ない。夜街灯も見ずらいしついていない。
- ②篠島では集落道路での車両による島内一周がまだ未完成である。災害時や道路陥没等があれば通行不能となりえるので、早期に長浜地区の道路工事の推進を願う。
- ③インフラと“デザイン”を両立してほしい。無機質なインフラ整備はやめてほしい。行政と施工者が南知多の観光地としての共通意識を持てるよう、行政側から多少の遊び感覚を持ってでもいいので動きかけてほしい。
- ④地主が住んでいない土地が増えて、管理されず住んでいる人の負担や迷惑感が増している。解決策は①土地を持つ人は管理が必至で、しない場合は管理費を徴収または請求し、草刈り費等に回す。②地元住民がボランティアで町をきれいにしようと思い意識を高める等。山を削って太陽光の町にして欲しくないが、平地を町が買って太陽光等利益確保し、それで山も買って、その整備費に回す等。
- ⑤海岸のごみ対策。①災害による流木やごみ。②観光客や釣り客へのごみ処理の徹底などを進めてください。
- ⑥水が不味すぎる(塩素すぎ)ので、老朽化した水道管を更新して欲しい。下水道がんばって欲しい。公共施設更新のために予算積み立てしてほしい。一人一台タブレットの実現。各家庭でも防災無線も確認しやすくなる。役場で手続きするような事も手元でできて、生涯学習もできてしまう。
- ⑦島に橋、河和までの電車があればいいのに。
- ⑧地域のものに勝手に手をつけてはいけないと思って困る場面が多いです。何が良くて何がダメなのか、広報に書いてあるとわかりやすい。
- ⑨海岸のごみもひどいから、ゴミゼロ運動だけでは足りない。もっと、機会を増やし、その参加者には、ゴミ袋の配布があつたりとお得があつて参加を募つたり、観光客にゴミを捨てていけないように学校でポスター作成を子どもたちにもつてもらい働きかけをしたり、町全体が美しくクリーンに住んでみたい町になると良いと思う。
- ⑩町には、ゴミが放置されている場所がたくさんある。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R6)
88	84	↘			95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・どれも大切なので力をいれてほしい ・国へ財源の要望を ・役場への通報窓口の一本化 ・中学生の通学道路整備 ・講演の管理についてはランク付けして示してほしい
R4	
R5	
R6	

基本施策 3-5 暮らしを支える地域公共交通

1. 現状と課題

町内を移動する公共交通は路線バスのほか、島民の通勤・通学には定期航路が利用されています。通勤・通学や高齢者の移動手段として不可欠な、バス・航路の維持、利便性の向上が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

鉄道、バス及び海上交通等の利便性の向上と利用促進を図り、生活に不可欠な移動手段が十分に確保されることで、町民が住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・自動車を運転できない高齢者の増加や、潜在利用者のニーズの変化に合わせ、運行ルートや時間帯、バス停留所等を見直していきます。
- ・駐車場など、利用者の利便性に大きく影響する周辺環境の改善に取り組みます。
- ・自動運転などの先進技術の導入、環境に配慮した車両等の導入、地域による公共交通、路線の再編等について、財政負担を抑えつつ、町民や観光客の需要に応じた移動手段を確保・充実する方法を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災危機管理室	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	1,642	1,744	B		P106
2 離島振興費	まちづくり推進室	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります	29,200	18,782	B	P65	P143
3 公共交通対策事業費	まちづくり推進室	南知多町地域公共交通計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります	136,298	107,033	A	P68	P147
4 小学校一般管理費	学校教育課	小学校施設の適切な維持管理に努めます	68,532	63,441	B		P248
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 公共交通機関を積極的に利用する。(個人)
- 運転手等の担い手がやりがいを持って働けるよう、感謝の気持ちやねぎらいなどを伝える(個人)。
- バス停周辺の除草、清掃を行う。(個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①海っ子バスの対応が悪い。島への物を運ぶ際、停めるところがない為不便。
- ②バスは、船との時刻表を調整して欲しい。船、特に学生は島に高校がないので無料とするか、終便をもう少し遅くして欲しい。未来ある子どもたちが、住んでいる環境で何かを犠牲にするのはいかなものか。
- ③難しい問題です。人口を増やすか、時間帯で使う車両(海っ子バス)を変えてコストダウンかそして配車を増やす。
- ④島民の本土への通学、買い物、通院など、現在の回数券を増やすこと。定期への補助の増額を行うこと。(町を離れていく要員の一つにもなっている)。
- ⑤役場や子育て支援施設にアクセスしやすい公共バスがあればいいのに。内海から役場の直行便がない。子育て支援センターは僻地。電子マネー使いたい。
- ⑥生活航路(観光船)料金が安い。補助の券も全然足りていない。どういう割合で割引券を出しているのか教えて頂きたい。必要な人、要らない人アンケートなどをとったりしてはどうでしょうか。
- ⑦海っ子バスを小型化して本数、ルートを増やしてほしい。
- ⑧河和までの距離が本当に面倒。だからみんな出ていくのだと思う。
- ⑨鉄道駅の有無がこれほど大切であることを、過去の指導者たちは気が付かなかったのだろうか。内海駅があることで、内海地区は恵まれている。積極的に公共交通機関を利用している。バスも停留場が増え、利用しやすくなった。
- ⑩電車が無いのに、有料道路で料金を払わないとどこへも行けないため転出したい。
- ⑪名鉄海上観光船の船賃が島民には大きな生活出費の負担である。
- ⑫バスの利用者が少ないとは言え、時間帯により1時間に1本しかない、非常に不便だと思います。
- ⑬高校生の通学圏を考慮した交通手段を確立しないと、転出したくなる。
- ⑭公共施設の再編と同時に交通網(路線バス、海上交通)の見直しを同時に検討したい。町の玄関口、内海駅を中心に。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
76	77	↗							91

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの小型化による経費削減や船の便数を増やすなど利用者の増加を促進する ・今後高齢者が増えることが予想されるため、バス停の数を増やすなど利便性の向上を図ってほしい ・歩道の整備や草刈りなども行き、安全な観光地とする。
R4	
R5	
R6	

基本施策 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ

1. 現状と課題

本町では町民や地域のつながり、助け合いが残っている一方で、若者の町外への流出により地域活動の中心が高齢者となっており、活動の担い手の確保、地域と移住者等の交流の促進など、新たな課題が生まれています。

2. 目指すべき将来像

少子高齢化、核家族化、若者・高齢者の単独世帯化が進み、人々の価値観やライフスタイルも多様化している中、町民それぞれの価値観などを認めた上で、ボランティア活動や町民の自主的なまちづくり活動、男女共同参画、国際交流活動の充実など、世代等の背景を超えたふれあいの機会が充実し、将来にわたり支え合い、助け合いが残っていくまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・町民や各種団体によるまちづくり事業を支援し、既存団体の合併や世代交代、移住者の地域参画、男女共同参画等を促すための各種情報提供等に努めます。
- ・地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、「関係人口」の確保に取り組みます。
- ・若者や女性、また近年認識されつつある多様な性も含め誰もが個々の能力に応じて活躍できる場が広がるよう、支援や情報発信に取り組めます。
- ・登下校や授業等の教育の場、生涯学習講座等で、子どもと高齢者など、世代間交流の機会の充実を図ります。
- ・外国籍町民もコミュニティに溶け込み、多様な文化が共生していくための、情報提供、相互理解の場の提供を進めます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 自治振興費	総務課	区の活動を助成し、各地区の振興と地域行政の充実に寄与するよう努めます	25,442	25,435	B		P102
2 まちづくり推進事業費	まちづくり推進室	地域のまちづくり協議会(7団体)の情報共有と連携及び情報発信のため、南知多町まちづくり協議会を運営するとともに、移住定住者が積極的な参加・交流のできるまちづくりを進めます	7,323	5,777	A	P66	P144
3 地方創生推進事業費(空き家・まちづくり推進事業)	まちづくり推進室	協働と連携のまちづくりの推進と定住・交流人口の増加を目指します	12,009	16,800	B	P67	P145
4 人権行政相談事務費	住民福祉課	人権擁護委員及び行政相談委員による相談並びに啓発活動を行います	112	1,133	A		P192
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 広報誌などで案内のあるボランティアやまちづくり行事などに参加する。(個人)
- 買い物や通院などに困ったご近所の方の手助けをする。(個人)
- 積極的に挨拶や会話をする。(個人)
- 移住者の意見を積極的に聞き、地域行事に参加しやすくなるように対応する。(地域)

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①自身が貧困母子家庭育ちなので、近所のわけあり家族やハンディキャップがある子どもの世話を買っているが、パートナー(家族)の損得勘定や有責事項が発生したら…など詰められると善意での共助も制限が出るうえ、消耗するばかりで疲れることもあり、ここは行政の担当なのでは?と思うこともある。
 - ②2-5と重複するが、島外者をよそ者と捉え、容易に仲間と認めない風潮がまだ残る。定住者との公的連携は町とか、地元なら漁協組合からの仲介が望ましい、島内の定住者は増えている。
 - ③地域の自主的な町づくり。町民が活用できる広場づくりなどの運動と町の支援が必要です。また、従来からの継続事業の予算増(R3年は減額されたものもある)進めてください。
 - ④役場職員が男女共同参画の研修を受けて欲しい。そして女性職員がもっと活躍できるよう、家庭の負担が大きい職員でも活躍できる働き方改革・意識改革を、役場から始めて欲しい。あらゆる会議、委員会、意思決定できる役職においても、女性の割合を増やすための取り組みをして欲しい。
 - ⑤自治振興費が何に使われているのかを、その地区の住民は分かっているか?
- 区、まちづくり、自主防災などなど乱立した組織の再編成が必要と考える。地域にどれだけの組織があるか把握することから実施してはどうか。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
84	79	↘							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
R3  一部努力を要するが概ね順調	・今後空き家が増えていくため宣伝や登録に力を入れていく必要がある ・南知多に住むとなった場合、そのアフターフォローが必要
R4	
R5	
R6	

基本施策 3-7 心と体安らぐ自然・住環境

1. 現状と課題

本町は豊かな海や緑に囲まれた魅力ある住環境が強みです。一方で、雑草・雑木による通行支障や冠水等の自然に由来する問題、狭隘な市街・道路等の改善が住環境の課題となっています。

2. 目指すべき将来像

身近な環境美化や、公園や河川、排水施設等の適切な管理、省エネルギー化等の推進により、環境に優しく、自然豊かな住環境を感じられるまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・安全な道路や公園環境の整備、排水施設の点検・改修や河川の土砂浚渫など、良好な生活環境を実感するために重要となる対策を進めます。
- ・身近な環境美化について、町民や地域等による、自主的な除草・剪定や河川・海岸清掃等の取り組みを支援します。
- ・家庭における省資源・省エネルギー型ライフスタイルや、ごみの減量化・リサイクル等の推進を支援します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 河川維持補修事業費	建設課	大雨時等の浸水や氾濫を防止するため、河川の未整備箇所や老朽箇所の改修を実施します	8,287	3,000	B		P164
2 環境保全対策事業費	環境課	住民と行政の協働による環境美化と地域環境の保全に努めます	21,941	49,991	A	P73	P212
3 環境衛生狂犬病対策事業費	環境課	環境衛生対策を図るため、不法投棄ごみの対策及び食用廃油の回収、狂犬病予防接種と犬の登録を実施します	1,196	1,455	A		P213
4 知多南部衛生組合分担金	環境課	知多南部衛生組合での事業に要する経費の分担金を支出します	605,540	742,157	B		P214
5 ごみ処理業務費	環境課	海岸漂着物の清掃や篠島、日間賀島のごみ処理施設の維持管理を行います	59,244	70,470	B	P74	P215
6 ごみ減量収集対策事業費	環境課	適恰なごみの収集及びごみ減量化のため、指定ごみ袋の作成販売、エコステーションの運営をします。	36,729	36,099	B	P75	P216
7 環境緑化推進事業費	産業振興課	住民の緑化に対する認識を高め、環境緑化を推進します	3,300	2,187	B		P180
8 農業土木一般管理費	建設課	農地や農業用施設の保全と質的向上を図る地域共同の取り組みを支援します	11,334	11,199	B		P150
9 公園維持管理費	建設課	遊具の修繕や樹木の剪定など都市計画公園の適正な管理を実施します	9,469	9,047	B		P169
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 生ごみをたい肥化する、レジ袋など使い捨てプラスチックの使用を控える、台所のごみを分別して排水を汚さないなど、日ごろから環境を意識する。
- 道路や散歩道、河川や水路など、身近な範囲の除草・ごみ拾いを行う。

6. 町民意識調査によるニーズ等


町民意識調査モニターによる自由記述のうち具体的な要望等のみを抜粋(町民意識調査ニーズに対する回答は別の資料で公表しています)

- ①中小の事業者エコレジ袋導入支援をお願いしたい。住民にもも意識を高めてもらいたい。
- ②町内の公園やハイキングコースに案内板の設置や整備を進めてください。(美浜町はよくやっています)。緑や海に囲まれてるだけで、気軽に行ける緑地や磯がない。遊べる整備された里山もない。持ち主が手放したがって、かつ、アクセスの良い里山、林、放棄地があれば、整備し、町の公園として利用できないか。
- ③前のページにも書いた通り、道路、街灯、道の両サイドの木・草が生い茂って危ない。該当見えずらい、ついていない。道路ガタガタ。観光客のマナーが悪い為ごみが減らない。
- ④竹藪が広がりすぎて、道路に倒れてきている。整備の促進と竹の有効活用に力をいれてほしい。
- ⑤もっと、海岸などの観光場所をきれいにクリーンアップすると良い！住民に参加してやってもらう機会をゴミゼロ以外に年に何回か行ったりして、代わりに、参加者には、参加特典があったり、観光客にごみを捨てていられないようなポスターがあったり、学校の子どもたちを巻き込んでもっと行い、子どもたちの意識にごみをなるべく出さない社会が思い描けるようになったらいいな。
- ⑥プラスチックゴミによる海洋汚染や二酸化炭素排出などに対する対策を小さな町でも本気で考えるべき。焼却場をなくしている町もある。持続可能な地球環境についての発信をしてほしい。
- ⑦どうしたらゴミが減るのかを町民から意見を募集して、フィードバックする。小学生に分別を知ってもらい、家族に話してもらう。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
82	85	↗							95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント(評価委員会で出た意見への回答は別資料で公表しています)
 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・町独自に環境通信を作成、充実 ・清掃箇所の再検討 ・放棄農地を親子農園に ・ハイキングコースを作成、看板等設置 ・ゴミ拾いや環境美化啓発看板の設置
R4	
R5	
R6	

基本施策 4-1 職員の成長とやりがい

1. 現状と課題

本町が持続していくための政策や事業を企画・実行していくには、人材の確保、成長、意欲、挑戦が必要となります。

2. 目指すべき将来像

町職員が継続的に学び、やりがいを持って働くことで成長し、前例にとらわれず挑戦し、活気ある職場が人材を惹きつける好循環の醸成を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

町として求める人材像が職員に浸透するよう、人材育成等の方針を職員に継続的に伝達します。また、今後重要となる知識・技術について、習得を促すための研修を組織的・計画的に実施するとともに、職員の自己研鑽を支援します。

自己研鑽に励んでいる職員や実績を残した職員が適正に評価される人事評価制度の運用を進めます。職員のやりがいと意欲を引き出し、仕事の成果と生活の充実が好循環を生み出すため、残業の削減をはじめとした働き方改革を進めます。また、出産や育児によって女性が活躍をあきらめることのないよう、子育てと仕事を両立できる職場環境づくりを役場が率先して実現し南知多町全体に広めていくため、まず役場内の意識を変えていくとともに、町内事業所の模範となるよう、管理職に占める女性職員の割合や男女の育児休暇取得率といった指標を公表していきます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 職員研修費	総務課	職場研修及び派遣研修を実施し、職員の職務遂行能力と資質の向上を図ります	703	1,192	B		P93
2 職員福利厚生費	総務課	職員健康診断、産業医面接指導など職員の福利厚生に係る事務事業を実施します	2,009	2,131	B		P94
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について


推進事項		推進事項の目的							
挑戦できる組織づくり		民間企業のノウハウを活用し、職員の意識改革と能力向上とともに職場環境の改善を図ることで、誰もが住民サービスの向上と財政負担の縮減に向けた新たな施策の実施に挑戦でき、職員の成長とやりがいを創出し続ける、魅力ある組織を目指します。							
		推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度			
					R2	R3	R4	R5	R6
①	民間活力の活用推進	民間活用の調査研究	事例集を作成し情報を全職員で共有	職員の情報収集能力向上、職員の分析能力の向上	●	→	→	→	→
		民間活用による事業実施	他自治体を参考にPPP/PFIの実施	住民サービス向上、財政負担軽減	●	→	→	→	→
		官民共創が見込める事業の創出	職員による課題の提案と民間企業への公表	職員の企画調整能力の向上	△	△	●	→	→
		官民共創事業の推進とプラットフォームの構築	提案を受け入れるシステムと推進体制の構築	住民サービス向上、財政負担軽減	△	△	●	→	→
②	職員の意識改革と能力向上	人事評価制度の見直し	360度評価制度の導入	職員の意欲向上、職員の能力向上	-	△	△	●	→
		若手・中堅職員の意識改革と能力向上	職員が主体的に実施する研修会の開催	業務の効率化、住民サービス向上	△	●	→	→	→
		管理職の意識改革と能力向上	マネジメントやコーチングに関する研修を実施	職員の能力向上、業務の効率化	-	△	●	→	→
		自己研鑽の支援	地域への貢献活動を支援	職員の能力向上	-	△	●	→	→
③	労働環境の整備	横断的な協力体制の構築	業務状況に応じた横断的な協力体制を構築	人件費削減、業務の効率化	-	△	●	→	→
		人員配置の適正化	特性に応じたキャリアプランと人事異動の負担軽減	職員の意欲向上、職員の離職防止	-	△	●	→	→
		育児・介護時の勤務形態の調整・支援	育児・介護時の柔軟な勤務形態の構築	職員の能力低下の防止、職員の離職防止	-	△	△	●	→
		時間外勤務の削減	業務の見直しや効率化により時間外勤務を縮減	人件費削減、業務の効率化、職員の健康維持	●	→	→	→	→

●…実施 △…検討 →…継続 -…未実施

6. 管理指標 (pt) 職員意識調査による実感度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
87	85	↘							95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント	
R3	 概ね順調	別紙記録書のとおり
R4		
R5		
R6		

基本施策 4-2 業務の高度化、効率化

1. 現状と課題

人口減少や高齢化、インフラ等の老朽化に伴う課題が深刻化する中、限られた予算・人員で課題の解決に取り組んでいくためには、業務の高度化・効率化が求められます。

2. 目指すべき将来像

町組織の体制や業務の見直し、新たな技術やデータの活用により、業務の高度化・効率化を進め、予算・人員が限られる中でも、地域の課題解決や町民満足度の向上を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

地域社会をとりまく環境の変化に合わせて適切に人員配置を行い、迅速に意思決定を行っていくため、組織機構の見直しを検討します。
 業務を自動化・効率化し、職員が政策企画等に注力するため、革新技術の導入やデータ連携の推進と、併せて業務の流れの見直しを検討します。
 地域課題の解決や民間のデータ活用に資するため、データの積極的な公開を進めるとともに、政策等立案や行財政運営におけるデータ活用を進めます。
 新技術等の導入に伴って発生する情報漏洩等のリスクに対応するため、適切な内部統制を構築し、職員及び関係者のセキュリティ意識の向上を図ります。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 総務一般管理費	総務課	役場の一般的行政事務に要する経費であり、円滑な運営に努めます	34,997	37,286	B		P92
2 サービスセンター一般管理費	総務課	サービスセンター業務の円滑な運営を図り、住民サービスの向上に努めるとともに、施設を維持管理する上で必要な修繕等を実施し、施設の管理に努めます	23,783	26,849	B		P101
3 電算一般管理費	総務課	行政事務の情報化を推進し、事務の効率化と住民サービスの向上を目指します	94,363	95,315	B		P100
4 検査事務費	企画財政課	町の発注する工事、委託、物品等について適切な入札執行及び検査事務を実施します	3,308	3,426	B		P132
5 戸籍住民基本台帳一般管理費	住民福祉課	戸籍法及び住民基本台帳法等に基づき、住民に関する記録を適正に管理します	38,612	30,406	A		P193
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について


推進事項		推進事項の目的							
デジタル化・DXの推進		住民ニーズは時代に伴い多様化しており、職員1人当たりの負担も増えています。そのため業務の効率化・高度化に必要なデジタル化・DXの推進を目指します。							
推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度					
				R2	R3	R4	R5	R6	
① 政策・調整機能の強化	事業提案の構築	職員による事業提案の推進	新たな事業の創出・既存事業の改善へつながる	△	●	→	→	→	
	プロジェクト単位の横断的な業務の促進	他課の職員と協力して1つの事業を推進	広い視点から事業を推進できる(住民ニーズに対応)	-	△	●	→	→	
	会議の時間・目的の明確化・効率化	制限時間の設定、結果の公表	時間短縮、事務効率化	-	△	●	→	→	
② 行政のスリム化・事務の効率化	煩雑な行政手続きの解消	手続きオンライン化の拡充	住民サービス向上、業務効率向上	●	→	→	→	→	
	テレワークに対応した共有体制の構築	電子決裁の導入	業務効率向上、状況に応じた柔軟な対応が可能	△	●	→	→	→	
③ 行政情報のデジタル化	デジタル化による事務改善	AI-OCR、RPA等の活用	業務効率向上、人件費削減	●	→	→	→	→	
	ペーパーレス化の推進	タブレットの導入	コピー代・用紙代縮減	●	→	→	→	→	
	電子データ管理方法の一元化	ファイルサーバの整理	容量の抑制、文書管理適正化	●	→	→	→	→	

●…実施 △…検討 →…継続 -…未実施

6. 管理指標 (pt) 職員意識調査による実感度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
89	92	↗							95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント	
R3	別紙記録書のとおり	
 概ね順調		
R4		
R5		
R6		

基本施策 4-3 町民の満足度向上

1. 現状と課題

人口の流出を抑制し地域社会を持続可能なものとするためには、町民が生活に満足することが必要であり、それが町外にも伝わることも重要です。

2. 目指すべき将来像

町民の満足度が向上することで、本町に住み続けたいと思う町民が増加することを目指します。また、近年ではSNS等により、住みやすさ等についての町民のイメージも容易に拡散するため、良いイメージが町外に広がることを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

町民の不満や前向きな意見を効果的に吸い上げるため、アンケートの実施方法を工夫し、満足度の変化を追跡調査していくことを検討します。

効果的に町民満足度を高めるため、従来の政策を漫然と継続するのではなく、ターゲットとする世代等にとって重要な分野について重点的に予算、人員等の行政資源を配分していきます。

業務の効率化等により、政策立案や町民対応等、満足度向上に重要な業務に職員が注力できる環境を整えるとともに、町民対応に係る自己点検や研修に取り組みます。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 自治功労者表彰関係費	総務課	町表彰条例に基づく表彰に加え、町制60周年に伴い、南知多町の発展に功績のあった個人及び団体の表彰を行います	115	370	B		P103
2 選挙管理委員会費	総務課	選挙管理委員会の開催、選挙人名簿の作成を行います	400	269	B		P104
3 広報広聴事業費	総務課	町民の行政参画と開かれた町政を推進するため、広報広聴事業を実施します	5,621	7,205	B		P96
4 議会一般管理費	議会事務局	本会議、委員会等の円滑な議会活動の運営に努め、開かれた議会を推進するために議会だよりの発行及び会議録の公開を行います	2,783	4,161	B		P243
5 一般企画費	企画財政課	住民との協働により、姉妹都市等交流、総合計画、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します	11,356	3,219	B	P64	P135
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について

推進事項		推進事項の目的							
公共施設・サービスの再編		公共施設の老朽化等により今後町の財政は圧迫されていき、施設の統廃合・長寿命化が必要となってきます。そのため公共施設とそれに伴うサービスの再編を推進します。							
推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度					
				R2	R3	R4	R5	R6	
①	公共施設等の再編	公共施設再配置計画の策定	公共施設による財政負担の軽減	△	●	→	→	→	
	学校の統廃合	小中学校の統廃合	児童・生徒数に応じた適正配置による教育の充実	●	→	→	→	→	
②	施策・事業の見直し	情報発信の多様化	HP・SNSによる行政情報の発信	広く、早い情報の収集が可能	●	→	→	→	→
		窓口業務の見直し	オンライン申請の拡充、住民票等の郵便局、コンビニ交付の導入検討	行政のスリム化と住民の利便性向上	-	△	→	→	→
③	住民のための体制づくり	庁内組織の再編	機構改革による担当業務の再編 職員定数の適正管理	住民窓口の明瞭化 業務の効率化 財政負担軽減	●	→	→	→	→
		まちづくりへの住民参画の促進	総合計画評価制度の導入	住民サービスの向上	△	●	→	→	→

●…実施 △…検討 →…継続 -…未実施

6. 管理指標 (pt) 職員意識調査による実感度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
84	90	↗							95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3	別紙記録書のとおり
ii 一部努力を要するが概ね順調	
R4	
R5	
R6	

基本施策 4-4 持続可能な行財政運営

1. 現状と課題

人口減少・高齢化や厳しい財政状況が深刻化する中でも、本町の行財政を持続可能なものとしていくため、今から備えていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

将来にわたり持続可能な財政を維持し、かつ必要な行政サービスも維持していくための財務体質の構築を目指します。

3. 将来像の実現に向けて

インフラ、建物等の公共施設について、人口・財政の長期的な見通しに基づき、重要なものは維持しつつ、人口規模等に応じた適切な水準への再編を進めます。また、将来の維持管理費を削減するための長寿命化等の対策を進めます。

現在、町が直営で実施しているサービスについて、コスト削減やサービスの向上、より効率的な業務が期待できる場合は、民間活用を検討します。

各種補助金等に加え、企業版ふるさと納税等の新たな手法も含め、必要に応じ可能な限り有利な資金調達方法を検討します。

本町の自然、コミュニティ、人材等、地域の資源を活かして、各分野の政策・事業を展開します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 財産一般管理費	総務課	公用車の維持管理及び公共施設の建物保険料等に要する経費であり、円滑な運営に努めます	12,889	11,041	B		P97
2 庁舎等維持管理費	総務課	庁舎を維持管理する上で必要な工事・保守点検等を実施し、施設の管理に努めます	29,369	42,426	B		P98
3 町民税賦課事務費	税務課	町民税の適正な課税を行うため、申告相談等の賦課事務を実施します	3,981	4,057	B		P126
4 固定資産税賦課事務費	税務課	土地、家屋、償却資産に基づく固定資産税の適正な課税を行います	17,277	14,420	B		P127
5 諸税賦課事務費	税務課	諸税(法人町民税・軽自動車税・町たばこ税・入湯税)の適正な課税を行います	598	1,355	B		P128
6 町税徴収費	税務課	町税の期限内完納を推進するため、町税督促状等の発送、差押え業務、口座振替の推進、コンビニ収納取扱い等の事務を実施します	2,921	3,399	B		P129
7 財政一般管理費	企画財政課	予算・決算等の財政事務を実施します	3,754	181	B		P130
8 ふるさと納税事業費	企画財政課	ふるさと納税制度の普及と産業振興の相乗効果により財源の確保をします	69,574	106,062	A	P47	P131
9 管財事務費	企画財政課	公有財産(土地)の管理等に係る事務事業を実施します	1,869	403	B		P133
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 行財政マネジメントにおける業務改善推進内容について


推進事項		推進事項の目的						
持続可能な財政基盤の構築		人口減少等により本町の歳入は今後減少を続け、現状のままでは運営できなくなります。財政状況を正確に把握し、持続可能な財政基盤を構築するための取り組みを進めます。						
推進項目	推進内容	概要	効果等	目標年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
① 歳出の抑制	公共施設保有量等の適正化	適正保有量の算出、及び維持管理・更新に係る費用の算出	財政負担の軽減	△	→	●	→	→
	適切な規模の予算管理	枠予算による歳出制限、及び適切な執行管理	財政負担の軽減	●	→	→	→	→
	財政・コストの意識改革	財政・コスト意識の研修会開催	職員のコスト意識の向上	●	→	→	→	→
	補助金の見直し	町民公益活動等補助金の見直し	財政負担の軽減	△	●	→	→	→
② 歳入の確保・充実	ふるさと納税寄附の確保	安定的な顧客を確保する商品の選定	財政運営の安定化	●	→	→	→	→
	特定財源の充実確保	国県補助金の活用の推進	財政負担の軽減	△	●	→	→	→
	新たな歳入の創出	広告・ネーミングライツ、公有財産の貸付等の推進	財政運営の安定化	△	→	●	→	→
	クラウドファンディングの導入	実施可能な事業の検討・創出	財政運営の安定化	△	→	●	→	→
③ 効果的・効率的な行財政運営	町有財産の処分	処分可能な財産の売却	財政負担の軽減	-	△	→	●	→
	企業版ふるさと納税の導入	企業版ふるさと納税導入方法の検討	財政運営の安定化	-	●	→	→	→
	低未利用施設等の有効活用	低未利用の公共施設等の利用方法の検討・有効活用	財政負担の軽減	-	△	→	●	→
	統一的な基準による地方公会計の活用	財務書類による行政コスト等の把握、及び将来の財政運営への活用	財政運営の安定化	●	→	→	→	→

●…実施 △…検討 →…継続 -…未実施

6. 管理指標 (pt) 職員意識調査による実感度

現状値 (R2)	R3		R4		R5		R6		目標値 (R6)
84	92	↗							95

7. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント	
R3	 概ね順調	別紙記録書のとおり
R4		
R5		
R6		